

札幌医科大学要覽

平成23年度



北海道公立大学法人
札幌医科大学

札幌医科大学要覧目次

1	概要	1
(1)	沿革	1
(2)	歴代理事長等	2
(3)	組織機構図	3
(4)	役職員	4
(5)	名誉教授	8
(6)	名誉博士	8
(7)	正職員数	9
	ア 総括表	
	イ 医学部学科目(基礎医学部門)職員数	
	ウ 医学部学科目(臨床医学部門)職員数	
	エ 医学部講座(基礎医学部門)職員数	
	オ 医学部講座(臨床医学部門)職員数	
	カ 保健医療学部職員数	
	キ 医療人育成センター職員数	
	ク 附属病院職員数	
	ケ 事務局職員数	
(8)	主な研究題目	1 3
	ア 医学部	
	イ 保健医療学部	
	ウ 医療人育成センター	
	エ 寄附講座	
	オ 特設講座	
(9)	文部科学省GPの採択・実施状況	3 0
(10)	国際交流	3 1
	ア 国際医学交流	
	イ 訪問教授・訪問研究員の受入れ	
	ウ 教員在外研究等	
	エ 国際医学交流センター	
(11)	標本館	3 2
	ア 歴代館長	
	イ 概況	
	ウ 利用状況	
2	学事事項	3 3
(1)	学生に関する事項	3 3
	ア 年度別志願者及び入学者数	
	イ 定員及び現員数	
	ウ 出身地別現員数	
(2)	年次別卒業者数	3 5
	ア 医学部	
	イ 保健医療学部	
(3)	国家試験合格状況	3 6
	ア 医師	
	イ 看護師	
	ウ 保健師	
	エ 理学療法士	
	オ 作業療法士	
(4)	研究生数	3 7
(5)	修士及び博士(医学)の学位授与者数	3 8
(6)	修士及び博士(保健医療学)の学位授与者数	3 8
3	附属病院	3 9
(1)	沿革	3 9
(2)	歴代病院長	3 9
(3)	患者概況	4 1
	ア 年間延患者数	
	イ 1日平均患者数	
(4)	中央部門稼働実績概況	4 2
	ア 放射線部使用状況	
	イ 検査部・病理部・医療材料部検査件数	
	ウ 薬剤部調剤件数	
	エ 手術部手術件数	
(5)	分娩件数	4 5
(6)	病床数	4 6
(7)	病理解剖件数	4 7
(8)	医療相談状況(平成22年度)	4 8
	ア 各科別件数	
	イ 相談内容別件数	
(9)	病院経営概況	4 9
	ア 病院診療収入稼働額	
	イ 医療行為別診療収入稼働額	

4	医学部附属フロンティア研究所.....	50
(1)	沿革.....	50
(2)	歴代研究所長.....	50
(3)	歴代研究所副所長.....	50
(4)	組織.....	50
(5)	研究計画の概要.....	50
5	医学部教育研究機器センター.....	52
(1)	沿革.....	52
(2)	歴代施設部長及びセンター所長.....	52
(3)	組織.....	52
6	医学部動物実験施設部.....	54
(1)	沿革.....	54
(2)	歴代施設部長.....	54
(3)	組織.....	54
(4)	関連委員会・指針.....	54
(5)	事業の概要(平成22年度).....	55
	ア 施設利用者数	
	イ 実験動物購入数及び飼育数	
	ウ 実験動物検疫検査実績数	
7	附属総合情報センター.....	56
(1)	沿革.....	56
(2)	センター所長.....	56
(3)	組織.....	56
(4)	事業の概要及び主な施設の整備状況.....	56
	(情報システム部門)	
	ア 教育支援システム	
	イ 研究支援システム	
	ウ 地域医療支援システム	
	エ 学内情報ネットワークシステム(SAINS)	
	(図書館部門)	
	ア 組織・施設概要	
	イ 蔵書	
	ウ 入館者数内訳(平成22年度)	
	エ 利用概要(平成22年度)	
	オ 地域医療支援(文献複写受付)	
	カ 特徴的な業務	
8	附属産学・地域連携センター.....	60
(1)	沿革.....	60
(2)	歴代センター所長.....	60
(3)	組織.....	60
(4)	業務概要.....	60
	ア 研究支援	
	イ 教育支援	
	ウ 知的財産の管理活用	
(5)	文部科学省科学研究費補助金.....	60
(6)	受託研究受入れ状況.....	60
(7)	特許出願等の状況.....	60
9	緩和医療学講座.....	63
(1)	沿革.....	63
(2)	担当教授.....	63
(3)	組織.....	63
(4)	研究計画の概要.....	63
10	分子標的探索講座.....	64
(1)	沿革.....	64
(2)	担当教授.....	64
(3)	組織.....	64
(4)	研究計画の概要.....	64
11	神経再生医学講座.....	65
(1)	沿革.....	65
(2)	担当教授.....	65
(3)	組織.....	65
(4)	研究計画の概要.....	65
12	オホーツク医療環境研究講座.....	66
(1)	沿革.....	66
(2)	担当教授及び代表教員.....	66
(3)	組織.....	66
(4)	研究計画の概要.....	66
13	道民医療推進学講座.....	67
(1)	沿革.....	67
(2)	担当教授及び代表教員.....	67
(3)	組織.....	67
(4)	研究計画の概要.....	67

14	南檜山周産期環境研究講座.....	68
(1)	沿革.....	68
(2)	担当教授及び代表教員.....	68
(3)	組織.....	68
(4)	研究計画の概要.....	68
15	平成23年度収入支出予算.....	69
16	校舎等建物面積.....	70

1 概要

(1) 沿革

札幌医科大学は、北海道総合開発の一環として、昭和25年に旧道立女子医学専門学校（昭和20年4月創立）を基礎に設置され、平成5年4月には、札幌医科大学衛生短期大学部（昭和58年4月開学）の発展的な改組に伴い、保健医療学部を増設し平成19年4月の地方独立行政法人化を経て、現在に至っている。札幌医科大学の沿革の概要は次のとおりである。

昭和25年2月20日	札幌医科大学設置認可(学生入学定員40人)
昭和25年3月25日	札幌医科大学条例公布
昭和25年4月1日	開学
昭和25年6月25日	開学式を挙行(大学記念日とする)
昭和25年8月6日	札幌医科大学処務規程公布
昭和26年4月1日	口腔外科学、整形外科、法医学、放射線医学の各学科目増設
昭和28年3月31日	学生入学定員を60人に増員
昭和28年4月1日	事務局及び学務部を設置
昭和29年4月13日	札幌医科大学設置認可条件中教員資格審査の制限解除
昭和30年9月1日	附属研究機関としてがん研究所設置
昭和31年3月31日	大学院医学研究科の設置認可(学生入学定員25人)
昭和31年4月1日	麻酔学学科目増設
昭和31年6月30日	附属図書館新築工事竣工
昭和31年9月1日	北海道立歯科衛生士養成所を本学の附属施設として設置
昭和33年1月10日	医学進学課程設置
昭和33年4月1日	口腔治療学学科目増設
昭和35年6月25日	開学10周年記念式挙行
昭和36年8月1日	北海道立衛生学院条例の公布により看護学校及び歯科衛生士養成所廃止
昭和37年4月1日	公衆衛生学学科目増設
昭和37年12月20日	学部学生の入学定員を80人に増員
昭和38年4月1日	大学院学生入学定員を社会医学系1人、外科系2人増員(総員28人)
昭和38年12月10日	臨床動物舎竣工
昭和39年4月1日	皮膚泌尿器科学の学科目を分離
昭和39年7月1日	専門課程の学科目制を講座制に改正
昭和40年4月1日	大学院学生入学定員を内科系1人、外科系1人増員(総員30人)
昭和43年4月1日	口腔外科学第二講座廃止
昭和43年4月1日	生化学第二講座増設
昭和43年9月1日	附属臨海医学研究所設置
昭和43年12月5日	医学進学課程校舎竣工
昭和44年4月1日	共同研究施設部設置
昭和45年2月10日	学務部に副部長制(2人)施行
昭和45年3月20日	基礎医学校舎第1期工事竣工
昭和46年11月5日	基礎医学校舎第2期工事竣工
昭和49年1月23日	学部学生の入学定員を100人に増員
昭和49年3月30日	放射性同位元素研究センター竣工
昭和50年6月25日	開学25周年(創基30周年)記念式挙行
昭和52年8月5日	附属がん研究所竣工
昭和53年8月1日	副学長制(2人)施行
昭和53年9月30日	体育館竣工
昭和54年1月26日	大学校舎南棟増築
昭和54年4月1日	進学課程及び専門課程の区分を廃止
昭和56年4月1日	附属がん研究所内科学部門廃止、附属がん研究所生化学部門設置、内科学第四講座増設
昭和57年2月26日	動物実験施設竣工
昭和57年4月1日	大学院学生入学定員を内科系1人増員(総員31人)
昭和57年5月16日	動物実験施設部設置
昭和58年6月23日	附属病院等整備第1期工事(病棟・中央診療棟)竣工
昭和60年6月20日	附属病院等整備第2期工事(外来診療棟)竣工
昭和61年3月13日	附属病院等整備第2期工事(臨床教育研究棟)竣工
平成3年3月28日	国際医学交流センター改修
平成5年4月1日	保健医療学部(入学定員90名)開設 (看護学科、理学療法学科、作業療法学科)
平成7年3月31日	リハビリテーション教育実習棟改修
平成8年4月1日	特定機能病院として承認

平成10年4月1日	大学院保健医療学研究科(入学定員24名)開設 (看護学専攻、理学療法学・作業療法学専攻)
平成10年4月1日	地域医療総合医学講座増設
平成11年3月28日	基礎医学研究棟竣工
平成11年4月1日	附属情報センター設置
平成11年4月1日	共同研究施設部を教育研究機器センターに改組
平成11年6月11日	新図書館開設
平成12年4月1日	大学院保健医療学研究科理学療法学・作業療法学専攻博士課程後期(入学定員6名)開設
平成12年4月1日	学務部を廃止し、学生部を設置
平成12年4月1日	医学部に副学部長制(2名)施行
平成12年4月1日	臨床検査医学講座増設
平成12年6月25日	開学50周年(創基55周年)記念式典挙行
平成12年10月26日	交流会館開設
平成13年4月1日	大学院医学研究科を再編整備(地域医療人間総合医学専攻、分子・器官制御医学専攻、情報伝達制御医学専攻の3専攻へ)
平成13年4月16日	地域医療支援センター設置
平成14年4月1日	患者の家族等のための宿泊施設(ファミリーハウス)開設、附属病院に救命救急センターを設置
平成14年10月1日	附属病院に高度救命救急センターを設置
平成14年12月1日	札幌医科大学記念ホール開設
平成16年4月1日	医学部附属病院から大学附属病院に名称変更 学校教育法第69条に基づく認証評価を受ける
平成16年9月17日	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価を受ける
平成18年4月1日	附属図書館及び附属情報センターを廃止し、附属総合情報センターを設置 附属産学・地域連携センター設置
平成19年4月1日	大学院保健医療学研究科看護学専攻博士課程後期(入学定員2名)開設
平成19年10月1日	地方独立行政法人化し「北海道公立大学法人 札幌医科大学」となる
平成20年2月13日	機器診断学廃止 保健医療学研究科看護学専攻成人健康看護学がクリティカルケア看護分野の専門看護師教育課程の認定を受ける
平成20年4月1日	医学部医学科学生の入学定員を105人に増員
平成20年4月1日	大学院医学研究科修士課程(入学定員10名)を開設(医科学専攻) 医学部の副学部長を1名増員(3名体制) 生理学第一講座を細胞生理学講座に、生理学第二講座を神経科学講座に、生化学第一講座を医化学講座に、生化学第二講座を生化学講座に名称変更 神経内科学講座、救急・集中治療医学講座増設
平成20年10月1日	医療人育成センター(30名体制)設置(入学者選抜企画研究部門、教養教育研究部門、教育開発研究部門) 同センター設置に伴い、医学部の副学部長を1名減員(2名体制)
平成21年4月1日	医学部医学科学生の入学定員を110人に増員
平成22年4月1日	保健医療学部に副学部長制(2名)施行
平成22年6月25日	開学60周年(創基65周年)記念式典挙行
平成23年4月1日	医学部附属フロンティア医学研究所設置

(2) 歴代理事長等

理事長					
平成19年4月1日	-	平成22年3月31日	今	井	浩
平成22年4月1日	-	現	島	本	和
					三
					明
学長					
昭和25年4月1日	-	昭和36年3月31日	大	野	精
昭和36年4月1日	-	昭和40年3月31日	中	川	七
昭和40年4月1日	-	昭和45年2月1日	新	保	幸
昭和45年2月1日	-	昭和47年2月8日	渡	邊	左
昭和47年2月9日	-	昭和55年2月8日	渡	邊	左
昭和55年2月9日	-	昭和61年2月8日	和	田	武
昭和61年2月9日	-	平成4年2月8日	菊	地	雄
平成4年2月9日	-	平成10年2月8日	谷	内	浩
平成10年2月9日	-	平成16年2月8日	秋	野	昭
平成16年2月9日	-	平成22年3月31日	今	井	明
平成22年4月1日	-	現	島	本	三
					明

(4) 役職員

(平成23年10月1日現在)

法人				大学			
		役員会		学	長(兼)		島 本 和 明
理 事 長		長 (管理・運営担当)	島 本 和 明				
副 理 事		事 (教育担当)	平 山 和 則				
	"	(学術研究担当)	黒 木 由 夫	事 務 局 長		野 村 了	
	"	(医療担当)	乾 公 美	企 画 管 理 部 長 兼		中 野 渡 直 志	
	"	(経営担当)	塚 本 泰 司	学 務 事 務 部 長		谷 藤 俊 哉	
監 事		事	白 崎 賢 治	病 院 事 務 部 長		齊 藤 仁 文	
	"		旗 本 道 男	総 務 課 長		久 保 田 浩	
	"		渡 辺 英 一	管 財 課 長		山 和 彦	
		経営審議会		経 営 企 画 課 長 兼		安 原 達 也	
議 委		長 員	島 本 和 明	学 務 課 長		嶋 田 哲 朗	
	"		平 山 和 則	学 務 課 入 試 室 長		白 戸 昌 義	
	"		黒 木 由 夫	病 院 課 長		樋 渡 敏 明	
	"		塚 本 泰 司	医 事 セ ン タ ー 長		川 手 嶋	
	"		白 崎 賢 治	患 者 サ ー ビ ス セ ン タ ー 長		寺 嶋 克 仁	
	"		太 田 三 夫	業 務 課 長			
	"		吉 田 守 利				
	"		川 崎 毅 一 郎				
	"		山 口 博 司				
	"		徳 田 禎 久				
		教育研究評議会					
議 委		長 員	島 本 和 明				
	"		黒 木 由 夫				
	"		乾 公 美				
	"		塚 本 泰 司				
	"		森 岡 伸 一				
	"		平 田 公 一				
	"		佐 藤 昇 志				
	"		當 瀬 規 嗣				
	"		高 橋 弘 毅				
	"		澤 田 典 均				
	"		篠 村 恭 久				
	"		山 下 敏 彦				
	"		大 日 向 輝 美				
	"		片 寄 正 樹				
	"		小 塚 直 樹				
	"		松 山 清 治				
	"		松 嶋 範 男				
	"		野 村 了				
	"		空 閑 良 壽				
		監査室					
室		長(兼) 教授	氷 見 徹 夫				

医学部

学 部 長 (兼) 教授 黒 木 由 夫
 副 学 部 長 (〃) " 高 橋 弘 毅
 " (〃) " 澤 田 典 均

学 科 目

基礎医学部門
 医科知的財産管理学 教授 石 埜 正 穂

臨床医学部門

産科周産期科学 (兼) 教授 齋 藤 豪
 形成外科学 " 四 ツ 柳 高 敏
 医療薬学 " 宮 本 篤
 病理診断学 " 長 谷 川 匡
 放射線診断学 (不 在)
 病院経営・管理学 (不 在)

講 座

基礎医学部門 (13講座)

解剖学第一講座 教授 辰 巳 治 之
 解剖学第二講座 " 藤 宮 峯 子
 細胞生理学講座 " 當 瀬 規 嗣
 神経科学講座 " 長 峯 隆
 医化学講座 " 黒 木 由 夫
 分子生物学講座 (不 在)
 病理学第一講座 " 佐 藤 昇 志
 病理学第二講座 " 澤 田 典 均
 微生物学講座 " 藤 井 暢 弘
 薬理学講座 " 堀 尾 嘉 幸
 衛生学講座 " 小 林 宣 道
 公衆衛生学講座 " 森 満
 法医学講座 " 松 本 博 志

臨床医学部門 (23講座)

内科学第一講座 教授 篠 村 恭 久
 内科学第二講座 " 三 浦 哲 嗣
 内科学第三講座 " 高 橋 弘 毅
 内科学第四講座 " 加 藤 淳 二
 神経内科学講座 " 下 濱 俊
 外科学第一講座 " 平 田 公 一
 外科学第二講座 " 樋 上 哲 哉
 整形外科学講座 " 山 下 敏 彦
 脳神経外科学講座 " 三 國 信 啓
 産婦人科学講座 " 齋 藤 豪
 小児科学講座 " 堤 裕 幸
 眼科学講座 " 大 黒 浩
 皮膚科学講座 " 山 下 利 春
 泌尿器科学講座 (兼) " 塚 本 泰 司
 耳鼻咽喉科学講座 " 氷 見 徹 夫
 神経精神医学講座 " 齋 藤 利 和
 放射線医学講座 " 晴 山 雅 人
 麻酔科学講座 " 山 蔭 道 明

地域医療総合
 医学講座 教授 山 本 和 利
 臨床検査医学講座 " 渡 邊 直 樹
 救急・集中治療
 医学講座 " 浅 井 康 文
 口腔外科学講座 " 平 塚 博 義
 リハビリテーション
 医学講座 " 石 合 純 夫

医学部附属フロンティア医学研究所

所長 (事務取扱) (兼) 教授 黒 木 由 夫
 (不 在)
 分子医科学部門 " 時 野 隆 至
 ゲノム医科学部門 " 三 高 俊 広
 組織再生学部門 " (不 在)
 遺伝子工学部門 (不 在)
 病態情報学部門 " 小 海 康 夫
 神経再生医療学部門 " 本 望 修
 医生物学部門 (不 在)

医学部教育研究機器センター

所 長 (兼) 教授 藤 宮 峯 子
 システム管理部門 (〃) " 藤 宮 峯 子
 形態解析部門 (〃) 准教授 小 島 隆
 電子顕微鏡部門 (〃) " 二 宮 孝 文
 蛋白質解析部門 (〃) 教授 小 海 康 夫
 遺伝子解析部門 (〃) " 時 野 隆 至
 細胞バンク部門 (〃) " 藤 宮 峯 子
 ラジオアイソトープ部門 (〃) " 加 藤 淳 二

医学部動物実験施設部

部 長 (兼) 教授 堀 尾 嘉 幸
 副 部 長 准教授 磯 貝 浩

保健医療学部

学 部 長 (兼) 教授 乾 公 美
 副 学 部 長 (〃) " 大 日 向 輝 美
 " (〃) " 片 寄 正 樹

看護学科

学 科 長 (兼) 教授 大 日 向 輝 美
 基礎・臨床医学講座 " 一 宮 慎 吾
 看護学第一講座 " 大 日 向 輝 美
 " " 城 丸 瑞 恵
 看護学第二講座 " 蛭 名 美 智 子
 " " 猪 股 千 代 子
 " " 山 口 雅 子
 看護学第三講座 " 波 川 京 子
 " " 奥 宮 暁 子
 " " 吉 野 淳 一

理学療法学科

学 科 長 (兼) 教授 小 塚 直 樹
 理学療法第一講座 (〃) " 乾 公 美
 " " 小 塚 直 樹
 理学療法第二講座 " 内 山 英 一
 " " 片 寄 正 樹

作業療法学科

学 科 長 (兼) 教授 松 山 清 治
 作業療法第一講座 " 中 村 眞 理 子
 作業療法第二講座 " 仙 石 泰 仁
 " " 池 田 望
 " " 松 山 清 治

医療人育成センター

セ ン タ ー 長 (兼) 教授 森 岡 伸
 副 セ ン タ ー 長 (〃) " 松 嶋 範 男

入学者選抜企画研究部門

部 門 長 (兼) 教授 傳 野 隆 一
 入学者選抜企画研究部門 " 傳 野 隆 一

教養教育研究部門

部 門 長 (兼) 教授 松 嶋 範 男

学科目

教養教育科目

哲 学 ・ 倫 理 学 講師 船 木 祝
 心 理 学 准教授 田 中 豪 一
 " " 高 橋 義 信
 法 学 ・ 社 会 学 " 旗 手 俊 彦
 " " 道 信 良 子
 英 語 教授 森 岡 伸
 運 動 科 学 准教授 岡 野 五 郎
 物 理 学 教授 高 田 純
 " " 松 嶋 範 男
 化 学 " 賀 佐 伸 省
 " " 藤 井 博 匡
 生 物 学 " 吉 田 幸 一
 数 学 ・ 情 報 科 学 准教授 大 柳 俊 夫
 " " 加 茂 憲 一

教育開発研究部門

部 門 長 (兼) 教授 相 馬 仁
 教育開発研究部門 " 相 馬 仁

附属病院

病院 長(兼)	教授	塚本泰司
副院長(兼)	"	篠村恭久
"(兼)	"	山下敏彦
"(兼)	看護部長	鈴木康世
診療科(25科938床)		
第一内科 長(兼)	教授	篠村恭久
第二内科 長(兼)	"	三浦哲嗣
第三内科 長(兼)	"	高橋弘毅
第四内科 長(兼)	"	加藤淳二
神経内科 長(兼)	"	下濱俊
第一外科 長(兼)	"	平田公一
第二外科 長(兼)	"	樋上哲哉
整形外科 長(兼)	"	山下敏彦
脳神経外科 長(兼)	"	三國信啓
神経再生医療科(兼)	"	本望修
婦人科 長(兼)	"	齋藤豪
産科周産期科 長(兼)	"	齋藤豪
小児科 長(兼)	"	堤裕幸
眼科 長(兼)	"	大黒浩
皮膚科 長(兼)	"	山下利春
形成外科 長(兼)	"	四ツ柳高敏
泌尿器科 長(兼)	"	塚本泰司
耳鼻咽喉科 長(兼)	"	氷見徹夫
神経精神科 長(兼)	"	齋藤利和
放射線治療科 長(兼)	"	晴山雅人
放射線診断科 長(兼)	"	晴山雅人
麻酔科 長(兼)	"	山蔭道明
総合診療科 長(兼)	"	山本和利
歯科口腔外科 長(兼)	"	平塚博義
リハビリテーション科 長(兼)	"	石合純夫
病院経営・管理部		
部長(事務取扱)(兼)	教授	塚本泰司
薬剤部		
部長(兼)	教授	宮本篤
検査部		
部長(兼)	教授	渡邊直樹
病理部		
部長(兼)	教授	長谷川匡
放射線部		
部長(兼)	教授	晴山雅人
手術部		
部長(兼)	教授	樋上哲哉
医療材料部		
部長(兼)	教授	齋藤利和
リハビリテーション部		
部長(兼)	教授	石合純夫
救急集中治療部		
部長(兼)	教授	浅井康文
医療安全推進部		
部長(兼)	教授	山下敏彦

感染制御部			
部長(兼)	教授	渡邊直樹	
臨床工学部			
部長(兼)	教授	山下敏彦	
看護部			
部長		鈴木康世	
中央写真室			
部長(兼)	教授	長谷川匡	

学生部

部長(兼)	教授	平田公一
(兼)	"	森一宮
(兼)	"	森一宮

国際交流部

部長(兼)	教授	佐藤昇志
(兼)	"	齋藤利和
(兼)	"	齋藤豪
(兼)	"	松山清治

附属総合情報センター

所 長(兼)	教授	當瀬規嗣
副所 長(兼)	講師	大西浩文
"		石栗公文

附属産学・地域連携センター

所 長(兼)	教授	黒木由夫
副所 長(兼)	"	石埜正穂
参事		湯田邦晴
副所 長(兼)		湯田邦晴

(寄附講座)

緩和医療学講座(兼)	教授	山蔭道明
分子標的探索講座	特任教授	新津洋司郎

(特設講座)

神経再生医学講座(兼)	教授	本望修
オホーツク医療環境研究講座	(兼) 教授	篠村恭久
道民医療推進学講座	特任教授	和田卓郎
南檜山周産期環境研究講座	(兼) 教授	齋藤豪

(7) 正職員数

(平成23年10月1日現在)

ア 総括表

(単位:人)

	計	学 部					保健医療学部					医療人育成センター			附 属 病 院	附 属 総 合 情 報 セ ン タ ー	附 属 産 学 ・ 地 域 連 携 セ ン タ ー	神 経 再 生 医 学 講 座	道 民 医 療 推 進 学 講 座	事 務 局	監 査 室	
		医 学 科				医 附 属 フ ロ ン テ イ ア 研 究 所	教 育 研 究 機 器 セ ン タ ー	動 物 実 験 施 設 部	看 護 学 科	理 学 療 法 学 科	作 業 療 法 学 科	(助 産 学 専 攻 科 開 設 準 備 室)	入 学 者 選 抜 企 画 研 究 部 門	教 養 教 育 研 究 部 門								教 育 開 発 研 究 部 門
		学 科 目 (基 礎 医 学 部 門)	学 科 目 (臨 床 医 学 部 門)	講 座 (基 礎 医 学 部 門)	講 座 (臨 床 医 学 部 門)																	
教育職	長 授 授 師 助 手	1 68 64 88 158 8	1 1 3 10 27 53 104	1 3 8 31	23 27 53 104	4 2 3 6 1		1	9 8 5 2 2 4	4 2 2 1 1	4 3 2 2 1	1 1 2 1	1 6 10 5 1	1 1 3		2		1				
	計	387	1	15	62	207	16	1	28	11	11	3	2	22	4		2		1			
一般職	局 長 ・ 部 長 課 長 等 ・ 主 幹 一 般 事 務 職 員 技 守 師 衛 員 運 転 技 術 員 電 頭 操 作 員 動 物 飼 育 員 司 書 員 研 究 補 助 員 調 理 員 電 気 技 能 員 電 話 交 換 手 ボ イ ラ ー 技 士 技 能 員 薬 剤 補 助 員 看 護 助 手	3 24 137 16 1 1 2 2 11 11 2 1 2 8 1 7																			3 21 122 11 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2	
	計 (1)	230		5	3	2	5	2					1			22	16	6			166	2
医療職	獸 医 師 栄 養 士 臨 床 検 査 技 師 衛 生 検 査 技 師 薬 剤 師 診 療 放 射 線 技 師 理 学 療 法 士 作 業 療 法 士 言 語 聴 覚 士 理 療 訓 練 員 臨 床 工 学 技 士 歯 科 衛 生 士 歯 科 技 工 士 視 能 訓 練 士	2 5 55 1 31 49 5 3 2 3 12 4 3 2																			5	
	計 (2)	177				2	6	2								162					5	
看護職	看 護 師 助 産 師 准 看 護 師	674 30 3														674 30 3						
	計 (3)	707														707						
	(1)+(2)+(3)	1,114		5	3	4	11	4					1			891	16	6			171	2
	総 計	1,501	1	15	67	210	20	11	5	28	11	11	3	2	23	4	891	18	6	1	171	2

役員で職員を兼務する者(理事長、医学部教授、保健医療学部教授)4名を含む
職員数は、再雇用職員を含む

イ 医学部学科目(基礎医学部門)職員数 (単位:人)

所 属		学科目 (基礎医学部門)	
		医科 知的財産 管理 学	計
職 種	教 育 職	教授 准講師 助教 助手	1
	計		1

ウ 医学部学科目(臨床医学部門)職員数 (単位:人)

所 属		学科目(臨床医学部門)						
		産科 周産期 科学	形 成 外 科 学	医 療 薬 学	病 理 診 断 学	放 射 線 診 断 学	病 院 経 営 ・ 管 理 学	計
職 種	教 育 職	教授 准講師 助教 助手	1	1	1	1	2	3
	計		4	4	1	4	2	15

エ 医学部講座(基礎医学部門)職員数 (単位:人)

所 属 講 座		講 座 (基 礎 医 学 部 門)											計				
		解 剖 学 第 一	解 剖 学 第 二	細 胞 生 理 学	神 經 科 学	医 化 学	分 子 生 物 学	病 理 学 第 一	病 理 学 第 二	微 生 物 学	薬 理 学	衛 生 学		公 衆 衛 生 学	法 医 学		
職 種	教 育 職	教授 准講師 助教 助手	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	計		5	5	5	5	4	4	5	5	5	5	4	5	5	62	
一 般 職	研 究 補 助 員	1	1	1					1				1			3	
	技 術 員	1	1	1					1				1			5	
合 計		6	6	6	5	4	4	5	5	6	5	4	6	5	67		

オ 医学部講座(臨床医学部門)職員数 (単位:人)

所 属 講 座		講 座 (臨 床 医 学 部 門)																	計								
		内 科 学 第 一	内 科 学 第 二	内 科 学 第 三	内 科 学 第 四	神 經 内 科 学	外 科 学 第 一	外 科 学 第 二	整 形 外 科 学	脳 神 經 外 科 学	産 婦 人 科 学	小 児 科 学	眼 科 学	皮 膚 科 学	泌 尿 器 科 学	耳 鼻 咽 喉 科 学	神 經 精 神 医 学	放 射 線 医 学		麻 酔 科 学	地 域 医 療 総 合 医 学	臨 床 検 査 医 学	救 急 ・ 集 中 治 療 医 学	口 腔 外 科 学	医 リ ハ ビ リ テ ィ シ ョ ン		
職 種	教 育 職	教授 准講師 助教 助手	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	23
	計		12	12	10	11	6	11	9	11	7	10	10	9	8	8	9	8	8	10	5	6	15	8	4	207	
一 般 職	研 究 補 助 員	1												1													3
	技 術 員	1													1		1					2					3
合 計		13	12	10	11	6	11	9	11	7	10	10	668	8	9	9	8	9	10	5	6	17	8	4	210		

力 保健医療学部職員数

(単位:人)

所 属			看護学科			理学療法学科		作業療法学科		計	
			基礎臨床医学	看護学第一	看護学第二	看護学第三	理学療法学第一	理学療法学第二	作業療法学第一		作業療法学第二
職 種	教育職	教授	1	2	3	3	2	2	1	3	17
		准教授	1	3	2	2	1	1	3	2	13
		講師		1	1	3	1	1		2	11
		助教		1	1	1	1	1		1	6
		助手		2	1	1	1	1		1	6
合 計			2	9	7	10	5	6	4	7	53

キ 医療人育成センター職員数

(単位:人)

所 属			入学者選抜企画研究部門	教養教育研究部門								教育開発研究部門	計
				学科目(教養教育科目)									
職 種			哲学・倫理学	心理学	法学・社会学	英語	運動科学	物理学	化学	生物	数学・情報科学		
教育職	教授	教授	1		2	2	1	1	2	2	1	1	8
		准教授	1	1		1	1		1	1	2	2	10
		助教			1						1	1	3
計			2	1	3	2	3	1	3	3	3	4	28
一般職	研究補助員	研究補助員			1								1
		計			1								1
合 計			2	1	4	2	3	1	3	3	3	4	29

ク 附属病院職員数

(単位:人)

所 属			附 属 病 院														計						
			病院経営・管理部	薬 剤 部	検 査 部	病 理 部	放 射 線 部	手 術 部	医 療 材 料 部	リハビリテーション部	救急集中治療部	医療安全推進部	感 染 制 御 部	看 護 部	中 央 写 真 室	臨 床 工 学 部		産 科 周 産 期 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	神 經 精 神 科	歯 科 口 腔 外 科	
一 般 職	一般事務職員	一般事務職員	2																			6	
		技師																					4
一 般 職	電気技能員	電気技能員																				4	
		薬剤補助員		1		2	2															1	
一 般 職	看護助手	看護助手																				1	
		計	2	1	2	2							6	4	1							6	
医 療 職	臨床検査技師	臨床検査技師			46	5																52	
		薬剤師		31																			31
		放射線技師					45																45
		理学療法士																					5
		作業療法士																					3
		言語聴覚士																					2
		理学療法士																					3
医 療 職	臨床工学技師	臨床工学技師													12							12	
		衛生士																				4	
		歯科衛生士																				4	
医 療 職	歯科技術士	歯科技術士																				3	
		計																				2	
看 護 職	看護師	看護師	2																			674	
		准看護師																					30
看 護 職	計	計	2																			3	
		合 計	4	32	48	7	45			12		3	2	672	4	13	30	2	1	1	7	891	

ケ 事務局職員数 (単位:人)

所 属		事 務 局											
		局 長 ・ 部 長	総 務 課	管 財 課	経 営 企 画 課	学 務 課	病 院 課	医 事 セ ン タ ー	患 者 サ ー ビ ス セ ン タ ー	業 務 課	計		
職 種	一 般 職	局長・部長	3										3
		長等事務		2	3	3	4	4	2	1	2	21	
		一般事務		19	16	16	23	22	10	8	8	122	
		技守			10		1					11	
		運転		1				1				1	
		研補					1					1	
		調理						2				2	
		電話交換			1							1	
		ボイラー			2							2	
		看護									1	1	
	計	3	22	32	19	29	29	12	9	11	166		
医療職	栄養士						5				5		
	計						5				5		
	合計	3	22	32	19	29	34	12	9	11	171		

(8) 主な研究題目

ア 医学部

専門教育科目	医科知的財産管理学	<ul style="list-style-type: none"> 1 医療関連技術の特許制度による有効な保護と活用に関する研究 <ul style="list-style-type: none"> 再生医療における生体材料の保護 手術・治療方法の保護 革新的技術の有効な保護 2 医学研究分野における産学連携システムの構築 3 無方式主義による研究創作物の知的財産的保護
	産科周産期科学	<ul style="list-style-type: none"> 1 卵巣過剰刺激症候群の病態の解明 2 多嚢胞性卵巣症候群の病態の解明 3 出生前診断に関する研究 4 産褥子宮復古と卵管とのマトリックスメタロプロテナーゼに関する研究 5 子宮内胎児発育遅延妊娠での胎盤異常の分子生物学研究 6 環境ホルモンが妊娠及び生殖内分泌に与える影響の検討 7 癒着胎盤症例の安全な帝王切開術の開発 8 性同一性障害症例の内分泌学的特徴の検討
	形成外科学	<ul style="list-style-type: none"> 1 組織移植による集学的治療についての臨床研究 2 凍結皮膚保存法についての基礎研究と熱傷患者への臨床応用 3 同種皮膚移植における局所免疫抑制剤についての研究 4 Tissue engineeringを用いた人工皮膚の開発についての研究 5 ケロイドと肥厚性瘢痕についての基礎的・臨床的研究 6 顔面組織再建法の開発 7 軟骨移植に関する基礎的・臨床的研究
	医療薬学	<ul style="list-style-type: none"> 1 医薬品による致命的循環器系副作用（QT延長症候群）に関する研究 2 臨床薬理遺伝学に基づくテーラーメイド薬物療法に関する研究
	病理診断学	<ul style="list-style-type: none"> 1 腫瘍の形態形成及び悪性度に関する遺伝子異常の解明 2 病理診断上有用な免疫組織化学染色マーカーの検討 3 新しい分子病理診断法の導入 4 骨軟部腫瘍の組織学的悪性度及び予後因子の探索 5 悪性腫瘍の治療標的分子となる特異的遺伝子異常の解析

基礎 医 学 部 門	解剖学第一講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 消化管の超微形態学および三次元的解析 2 情報薬による戦略的防衛医療構想に関する研究 3 ITをフル活用したホームヘルスケアシステムに関する研究 4 インターネットを活用した統合化三次元再構築システムの開発とその応用 5 神経培養による神経細胞の特性の解析 6 上皮組織・神経組織におけるイオンチャネルと細胞接着装置の機能解析 7 解剖学、形態学の情報を元にした医学一般のマルチメディア情報の統合化システムの開発と構築 (URL http://www.sapmed.ac.jp/anat/) 8 神経細胞上における適切な入力をもつシナプス分布形成のメカニズムの解明 9 大脳皮質投射ニューロンの樹状突起形態形成と機能発現の解析
	解剖学第二講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 再生医学と変性疾患の解明のための骨髄幹細胞研究 2 脳腸相関 3 骨格標本を用いた生物人類学的研究 4 バイオメカニクス研究 5 腸管粘膜の修復、再生のための骨髄幹細胞研究 6 心理ストレス誘発生体反応の分子機構解明
	細胞生理学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 心拍動開始時期における心臓の機能的変化の検討 2 成長に伴うイオンチャネルの遺伝子発現量および電流量変化に関する研究 3 チャネル電流に作用する新たな分子の同定・機能解析 4 諸種病態モデルにおけるイオンチャネルの役割に関する研究
	神経科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 非侵襲的脳機能検査法を用いたヒト高次脳機能の解明 2 運動制御に関わる中枢神経機構 3 学習の神経機構 4 海馬シナプスの伝達機構の解明 5 脳血管細動脈による脳循環動態の調節の解明
	医化学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 糖質結合蛋白質の構造と機能に関する研究 2 増殖因子受容体のN型糖鎖の機能に関する研究 3 コレクチンを介する生体防御の分子機構の解明 4 生体防御関連受容体の構造と機能に関する研究 5 肺サーファクタントアポ蛋白の病態医化学的研究
	分子生物学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 癌のエピジェネティクス (DNAメチル化とヒストン修飾) 2 癌のシグナル伝達機構の解析 3 クロマチンレベルでの遺伝子発現制御の分子機構解析 4 癌におけるマイクロRNAとRNA干渉系の異常と制御 5 エピゲノム解析による新しい癌の診断および治療法開発 6 組織及び癌幹細胞のエピゲノム解析 7 ジアシルグリセロールキナーゼの機能解析

基礎 医 学 部 門	病理学第一講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 腫瘍免疫分子機構、ヒト癌ワクチン開発 2 腫瘍の免疫学的エスケープの分子機構 3 分子シャペロン、特に熱ショック蛋白と免疫、熱ショック蛋白質と癌 4 胸腺上皮による免疫寛容誘導機構 5 リンパ球抗原と機能 6 移植片拒絶の制御機構 7 分子シャペロンと神経細胞変性機構 8 アポトーシスの分子機構 9 細胞周期、細胞癌化機構、特にセントロゾーム異常と癌 10 シグナル伝達機構 11 白血病、悪性リンパ種の分子遺伝学 12 遺伝子診断と分子病理 13 寄生虫病と分子病理 14 海洋生物産生物質と癌、免疫、医学 15 重力医学、宇宙医学
	病理学第二講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 生体バリアの分子病理学 2 粘膜の生体防御と病態生理 3 鼻粘膜とタイト結合 4 肝細胞のギャップ結合調節機構 5 肝疾患と血液胆汁関門 6 シグナル伝達を介した細胞間接着装置の調節機構 7 上皮細胞の極性形成機構 8 細胞間隙における分子通過機構 9 血液組織関門の制御機構 10 発がん過程における上皮構築破綻の機序 11 悪性腫瘍におけるタイト結合異常
	微生物学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 病原微生物の病原因子に関する研究 2 ウイルス感染によるサイトカイン及びTLRシグナル伝達系の変動に関する研究 3 細胞分化に伴うインターフェロン - システムの変化 4 薬剤耐性機構の解明及び分子疫学 5 難治性疾患における病原微生物、内在性レトロウイルス、レトロポゾン等の関与 6 プリオン蛋白遺伝子プロモータ領域の解析、及びプリオン蛋白蓄積機構の解明
	薬理学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 老化の解明、特に長寿遺伝子産物サーチュインの機能の解明 2 細胞内カルシウムイオンの働きと意義
	衛生学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 ウイルス性下痢症の分子疫学 2 ウィルス遺伝子の複製、変異のメカニズム 3 感染性微生物の病原因子に関する機能解析 4 院内感染起因菌、薬剤耐性菌の分子疫学 5 病原細菌における薬剤耐性遺伝子の分子遺伝学 6 感染症流行に関する時系列解析

基礎 医学 部門	公衆衛生学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 地域社会におけるがん、循環器疾患、特定疾患などに関する疫学的研究 2 分子生物学的手法を取り入れた生活習慣病に関する予防医学的研究 3 高齢者に対する医療、保健、福祉の統合的推進に関する研究 4 ストレス関連疾患などの新しい職業性疾患に関する予防医学的研究 5 身体活動増加の介入による各種疾患の予防に関する研究 6 環境要因がエピジェネティクスに与える影響に関する研究
	法医学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 アルコール等濫用薬物の細胞内情報伝達機構 2 アルコール性・非アルコール性臓器障害の発生・進展機序 3 アルコール性・非アルコール性大腿骨頭壊死の発生機序と治療法の開発 4 アルコール関連死の病態機序 5 死後CTを用いた新たな死因診断基準の策定 6 死後CTを用いた新たな骨鑑定 7 突然死の分子機構と診断法の開発 8 飲酒経済学と死体経済学 9 新たな危機管理策の検討
臨床 医学 部門	内科学第一講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 消化器癌のゲノム情報に基づく遺伝子診断および遺伝子治療 2 アポトーシスの応用による癌の遺伝子治療 3 癌の新しい分子標的治療の開発 4 潰瘍性大腸炎・クローン病の再生治療、免疫治療 5 消化器癌の拡大内視鏡診断・超音波内視鏡診断と生検材料を用いた遺伝子診断 6 肝・胆・膵領域における新しい画像診断および遺伝子を基盤とした治療 7 消化管癌における新しい癌化促進分子機構の解明と臨床応用 8 消化器癌進展（浸潤・転移）分子機構と遺伝子診断・治療応用 9 肝癌における前癌病変の発生機序とその阻止に関する研究 10 I V Rを用いた癌に対する新しい標的免疫治療の開発 11 自己免疫疾患の感受性遺伝子（SNP）解明 12 自己免疫疾患の新しい治療法の開発 13 後天性免疫不全症候群の遺伝子診断および遺伝子治療 14 新しいオーダーメイド医療の開発

臨床医学部門	内科学第二講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 本態性・各種2次性高血圧の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 2 糖尿病の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 3 虚血性心疾患の病態・薬物療法における基礎的・臨床的研究 4 虚血性心疾患の侵襲的治療法における基礎的・臨床的研究 5 心筋リモデリング、アポトーシスに関する基礎的研究 6 各種心疾患における画像診断に関する基礎的・臨床的研究 7 心機能の臨床的評価法と治療に関する研究 8 不整脈の成因・病態に関する基礎的・臨床的研究 9 不整脈の侵襲的治療法における基礎的・臨床的研究 10 高血圧、糖尿病の発症と進展に関する疫学的研究 11 虚血性心疾患の発症と予後規定因子に関する疫学的研究 12 各種腎疾患の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 13 腎不全の血液透析、腹膜透析療法に関する臨床的研究 14 各種血液浄化法に関する臨床的研究 15 腎不全におけるカルシウム、リン代謝に関する臨床的研究 16 各種内分泌因子の臓器保護作用に関する基礎的・臨床的研究 17 メタボリックシンドロームの成因・病態に関する基礎的・臨床的研究
	内科学第三講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 特発性間質性肺炎の診断、病態、治療に関する研究 2 肺サーファクタント蛋白の機能に関する研究 3 肺癌の診断、予後因子、治療に関する研究 4 肺癌の浸潤転移に関する分子生物学的研究 5 サルコイドーシスの診断、病態に関する研究 6 気管支喘息の病態、治療に関する研究 7 環境と気管支喘息、過敏性肺炎に関する研究 8 膠原病の肺疾患の診断、病態、治療に関する研究 9 各種肺疾患の三次元的病態像の解析 10 臨床CT、MRI、超音波像の解析 11 肺気腫の診断、病態に関する研究 12 HRC Tをもちいた末梢気道立体構築の研究

臨床医学部門	内科学 第四講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 食道癌に対する新規化学療法の開発 2 胃癌に対する新規化学療法の開発 3 大腸癌に対する新規化学療法の開発 4 膵癌に対する新規化学療法の開発 5 膵癌に対する新規動注化学療法の開発 6 慢性肝炎における肝癌発症因子の探索 7 慢性肝炎における鉄代謝異常の解析 8 肝細胞癌に対する動注化学療法の開発 9 劇症肝炎に対する新規治療法の開発 10 胆道癌に対する動注化学療法の開発 11 粘液産生膵腫瘍に対する新規治療法の開発 12 閉塞性黄疸に対する新規治療法の開発 13 再生不良性貧血及び骨髓異形成症候群における病態解析 14 造血幹細胞移植における予後因子の探索 15 再生不良性貧血及び骨髓異形成症候群における発症因子の探索 16 赤白血病に対する新規治療法の開発
	神経内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 アルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症のニューロン死機序の解明及び細胞死を防ぐ神経保護活性物質の探索 2 障害を受けた脳・脊髄や末梢神経・筋肉の可塑的再生、機能回復を目指す神経再生研究 3 重症筋無力症の病態解明への三叉神経刺激による咬筋反復刺激検査の臨床応用 4 筋萎縮性側索硬化症の呼吸障害の病態解明 5 重症筋無力症における興奮収縮連関障害の解明 6 神経変性疾患の病態におけるヒストン脱アセチル化酵素SIRT1の機能的役割 7 多発性硬化症におけるオリゴデンドロサイトの細胞死のメカニズムの検討 8 神経内科疾患におけるステロイド性骨代謝異常とその治療法の検討 9 神経変性疾患関連遺伝子の検索 10 脳卒中医療と福祉に携わる他職種への卒前卒後の脳卒中教育システムの開発 11 北海道の脳卒中医学連携システムの開発

臨床 医 学 部 門	外科学第一講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 肝不全発生機序と人工肝開発 2 肝幹細胞移植と肝細胞置換術 3 固形癌に対するがんワクチン免疫療法に関する臨床研究 4 消化器癌術後特異的免疫能変動に関する基礎的・臨床的研究 5 腹腔鏡手術における手術手技および手術器具の研究 6 肝再生医学における遺伝子治療の導入 7 外科侵襲と胆汁うっ滞、臓器不全に対する基礎的研究 8 臓器肝移植における再灌流障害発生予防に関する研究 9 アシアログリコブテインレセプター解析による肝予備能評価確立に関する研究 10 固型癌術後療法とDNAアレイおよびプロテオミクスに関する研究 11 心臓死からのグラフト肝摘出に関する研究 12 ラジオ波焼灼を使用した肝切除後の肝再生分子機序に関する研究 13 過冷却超低温技術による全肝臓器保存法の開発研究 14 胃癌、膵・胆道癌の再建外科治療に関する研究 15 全胃幽門輪温存膵頭十二指腸切除術後の消化管運動についての基礎的研究 16 消化器癌・乳癌の転移・治療に関する分子生物学的研究 17 胃癌の転移形式の差に関わる分子機構に関する研究 18 大腸癌再発危険因子の基礎的・臨床的研究 19 膵・胆道癌における癌発生・浸潤形式の分子生物学的研究 20 乳管内微小病変の診断と治療に関する研究 21 重傷感染症に対するヒトグロブリンの投与効果と侵襲因子の同定に関する臨床研究
	外科学第二講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 重症心疾患に対する長時間心筋保護の安全性確立についての研究 2 弁膜症に対する自己弁温存remodeling法術式確立の研究 3 急性解離性動脈瘤に対する病変部からみた手術及び遠隔成績の検討 4 胸腹部大動脈瘤に対する補助手段と脊髄虚血防止の研究 5 重症心機能低下症例に対する術後補助手段と人工心臓、心移植の研究 6 重症冠動脈疾患に対する低侵襲手術の応用と手術成績向上の研究 7 心臓及び肺移植に対する免疫抑制法、保存法の研究 8 心臓疾患に合併する心房細動に対するMaze手術後の心房機能の研究 9 弁膜症に対するHomograft弁の保存法と臨床応用の研究 10 ホモグラフトの耐久性に関する研究 11 心筋・血管・心臓弁・気管(支)に対する再生法の研究 12 超音波エコーによる脊髄血流評価に関する研究 13 肺癌術後の残存肺における気腫用性変化の研究 14 胸腔鏡手術に関する手術手技、デバイスの研究 15 胸部疾患に対する胸腔鏡による手術適応拡大の研究 16 肺癌に対する外科治療の縮小手術適応に関する研究

臨床 医 学 部 門	整形外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 骨肉種の成因に関する免疫学的・分子生物学的研究 2 疼痛マーカーのプロテオミクス解析 3 四肢のバイオメカニクスに関する研究 4 脊椎疾患に関する定量的画像診断の研究 5 腰椎における痛覚発生メカニズムに関する研究 6 骨塩量に影響を及ぼす諸因子の研究 7 神経細胞のイオンチャンネルに関する研究 8 脊椎低侵襲手術の開発 9 各種関節鏡視下手術の開発 10 骨軟部悪性腫瘍に対する免疫療法の開発 11 骨粗鬆症に伴う疼痛の研究 12 スポーツ障害と外傷の予防と治療 13 慢性疼痛に対する有効な治療法の確立 14 アルコール性大腿骨頭壊死の発生機序に関する研究
	脳神経外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 もやもや病の遺伝子解析 2 3D CTAやEPIを用いたfunctional MRIなどの新しい画像診断システムの開発 3 グリオーマの免疫療法の研究 4 脊髄損傷の基礎研究 5 血管内手術の基礎的研究 6 神経幹細胞移植に関する研究 7 脊髄誘発電位の臨床応用 8 神経内視鏡を用いた低侵襲手術法の開発 9 覚醒下手術を用いた脳機能代償機構の研究 10 てんかんの病態・治療の研究 11 CT/MRIのfusion画像を用いた手術支援システムの開発 12 頭蓋底手術に対する頭頸部微小解剖研究 13 手術訓練を目的とした頭蓋骨、脳、脳神経、硬膜模型の開発 14 Selective Laser Sinteringを用いた術前シミュレーションのための疾患模型の開発 15 移植免疫に対する間葉系幹細胞の免疫原性の解析 16 腫瘍幹細胞に関する基礎研究 17 再発悪性神経膠腫に対する化学療法の研究 18 脳腫瘍に対する術中蛍光診断に関する研究 19 TractographyやfMRIを用いた覚醒下手術の検討 20 スtentを用いた脳動脈瘤治療の研究 21 頸動脈stent留置術後の残存潰瘍に関する研究 22 抗血小板薬の効果に関する研究 23 脳梗塞におけるガングリオシドの神経再生への関与 24 もやもや病の画像診断に関する研究 25 脳血管障害手術の手術シミュレーションに関する研究 26 脳卒中の遠隔画像診断に関する研究 27 Bipolar forcepsの付着に関する研究

臨床医学部門	産婦人科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 婦人科癌の浸潤・転移機構の解析 2 婦人科癌の遺伝子解析と遺伝子診断 3 卵巣黄体機能の研究 4 排卵障害と体謝異常に関わる遺伝子多型の関わり 5 子宮内膜癌の癌化における細胞接着蛋白の役割 6 子宮頸癌とヒトパピローマウイルスの研究 7 婦人科疾患の超微形態学的研究 8 子宮内膜症の分子生物学的検討 9 卵巣癌での薬剤耐性克服 10 バイスタンダー効果を応用した遺伝子治療の研究
	小児科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 R Sウイルス感染症に関する研究 2 ウイルス性胃腸炎に関する研究 3 サイトメガロウイルス感染症に関する研究 4 パルボウイルス B 1 9 感染症に関する研究 5 先天性筋緊張性ジストロフィーの遺伝子診断に関する研究 6 脊髄性筋委縮症の遺伝子診断に関する研究 7 新しいカテーテルインターベンション法の開発 8 胎児心エコー検査による先天性心疾患の診断に関する研究 9 造血幹細胞移植に関する研究 10 造血幹細胞移植時の移植片対宿主病 (GVHD)の診断と治療に関する研究 11 造血幹細胞移植時のウイルス感染症に関する研究
	眼科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 網膜変性症の病態及び治療研究 2 正常眼圧緑内障の病態に関する研究 3 斜視・弱視の手術方法や予後に関する臨床研究 4 眼科領域におけるMRスペクトロスコピー法の開発 5 眼内循環に及ぼす薬理作用に関する研究
	皮膚科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 メラニン合成機構の生物学的・分子生物学的機序の解明 2 メラニン形成関連遺伝子の構造と機能の解析 3 皮膚癌・悪性黒色腫の化学療法と標的分子治療法の開発 4 皮膚色素異常症の病態・治療法の分子生物学的アプローチ 5 皮膚創傷治癒の生物学的・分子生物学的機序の研究とその臨床応用 6 皮膚腫瘍の微細構造の画像化と3次元解析 7 紫外線生物学と色素性乾皮病の遺伝子診断 8 メラノーマにおけるアポトーシス関連遺伝子の発現と機能の研究 9 皮膚ウイルス感染症の病態に関する研究

臨床 医 学 部 門	泌尿器科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 泌尿生殖器腫瘍学 2 腫瘍免疫学 3 前立腺肥大症の疫学的研究と臨床的研究 4 尿路感染症・STDの疫学的研究と臨床的研究 5 尿路粘膜における感染免疫学 6 尿路再生・再建医学 7 男子性機能の基礎的・臨床的研究 8 男子不妊症の成因と治療の研究 9 腎移植・移植免疫 10 性別適合手術
	耳鼻咽喉科学 講 座	<ul style="list-style-type: none"> 1 高度感音性難聴に対する人工内耳に関する研究 2 扁桃の免疫学的機能に関する研究 3 病巣性扁桃炎の発症機序に関する研究 4 上気道粘膜免疫に関する研究 5 小児中耳炎の病態、治療法に関する研究 6 鼻アレルギーの病態に関する研究 7 頭頸部腫瘍・悪性リンパ腫に関する研究 8 睡眠時無呼吸症候群の病態に関する研究 9 音声言語機能に関する研究
	神経精神医学 講 座	<ul style="list-style-type: none"> 1 アルコール・依存形成薬物による脳神経回路網の変異および神経幹細胞機能に関する研究 2 神経新生と神経回路網からみた内因性精神疾患（気分障害・統合失調症）の発症と病態に関する研究 3 アルツハイマー病の病態並びに治療法開発（新規向知性薬の探索）に関する研究 4 ヒト高次認知機能と視空間成立機構に関する神経心理学的研究 5 摂食障害の病態解析：低栄養がひきおこす脳神経回路網障害と嗜癖行動の関連性に関する研究 6 国際ネットワークに基づくブレインバンクの構築に関する研究 7 性同一性障害の心理的及び生物学的特徴に関する研究 8 集団精神療法および自助グループに関する臨床研究 9 コンサルテーション・リエゾン精神医学（緩和医療も含む。）に関する研究

臨床 医学 部 門	放射線医学講座	<p>< IVR > 部門</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 悪性腫瘍に対する非手術的治療法に関する研究 2 悪性腫瘍の進展度に関する画像診断を用いた研究 3 手術と非手術的治療を組み合わせた悪性腫瘍に対する治療法の研究 4 悪性腫瘍に対するIVRおよび化学・放射線併用療法の研究 5 集束超音波エネルギーを用いた悪性腫瘍の治療法の研究 <p>< 核医学部門 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 移動性のある臓器における融合画像の研究 2 救急領域における核医学検査の適応拡大に関する研究 <p>< 治療部門 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 放射線によるアポトシスの分子機構に関する研究 2 癌細胞固有の放射線感受性を決定する分子機構に関する研究 3 高精度放射線治療に関する研究 <p>< 診断部門 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 肝陰性造影剤を用いた拡散強調画像による微小肝転移描出の研究 2 膈高分解能抗散強調像に関する研究 3 骨盤臓器の癒着の術前評価の至適撮像法に関する研究 4 MR mammography と病理組織像の比較研究 5 MR angiography による微小血管描出に関する研究 6 CT angiography と血管造影像と比較研究 7 ヨード造影剤の遅発性副作用に関する臨床調査・研究 8 DICOM画像の医学教育利用に関する研究 9 三次元画像処理方の開発・研究 10 医用デジタル画像保管ネットワークに関する実験・研究 11 遠隔地画像診断実用化に関する研究 12 死亡時画像診断に関する研究
	麻酔科学講座	<p>< 基礎部門 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 周術期疼痛ならびに鎮痛機序の解明 2 癌性疼痛ならびに鎮痛機序の解明 3 気道過敏性モデルにおける各種麻酔薬の作用機序の解明 4 筋弛緩薬の各部位での作用効果 5 虚血心、培養心筋、摘出心筋を用いての各種麻酔薬の作用機序 6 敗血症性ショックにおける体液性因子の影響 7 遺伝子多型と麻酔合併症の関係 <p>< 臨床部門 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 術後鎮痛法の検討 2 周術期血液凝固線溶系の検討 3 吸入麻酔薬・静脈麻酔薬の質の検討 4 超音波ガイド下神経ブロック法の検討 5 麻酔周辺機器の開発・発明 6 敗血症における各種新薬の検討 7 新しい気道確保法の確立

臨床医学部門	地域医療総合医学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 Common diseases の診断とマネジメントの研究 2 診療行為の有効性と効率性の評価の研究 3 医療における心理社会倫理的側面の研究 4 医学教育に関する研究 5 地域医療に関する研究
	臨床検査医学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 分子機能解析を基盤とした癌の遺伝子診断法に関する研究 2 アポトーシス制御機構の解析に基づいた癌治療効果増強に関する研究 3 感染症の遺伝子タイピングと院内感染対策への応用に関する研究 4 輸血検査の精度向上に関する研究 5 生体内微量物質の高感度検出法に関する研究 6 生体のストレス応答に関する研究 7 新規超音波検査法を用いた心機能評価に関する研究 8 造影超音波法による肝腫瘍の診断能向上に関する研究
	救急・集中治療医学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 蘇生後脳症および重症頭部外傷に対する脳低温療法の臨床的研究 2 人工心肺を用いた心肺脳蘇生法に関する基礎的研究 3 人工心肺を用いた選択的脳低温療法の基礎的研究 4 心肺停止症例に対する人工心肺を用いた心肺脳蘇生法の臨床的研究 5 多臓器不全および敗血症性ショックの病態生理並びに治療に関する研究 6 高度侵襲時の生体防御反応に関する分子生物学的研究 7 重症患者における急性血液浄化法に関する基礎的、臨床的研究 8 A R D S に関する分子生物学的研究 9 A R D S におけるサーファクタントの研究 10 航空機による救急搬送体制の研究 11 災害医療に関する研究 12 中毒薬理に関する神経科学的研究
	口腔外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 口腔癌の選択的動注化学放射線療法に関する研究 2 口腔癌の免疫治療に関する研究 3 口腔癌の分子生物学的研究 4 口腔癌の機能温存療法に関する研究 5 口腔癌の低酸素環境下における抗癌剤耐性獲得機序の解析に関する研究 6 顎変形症の形態と機能に関する研究
	リハビリテーション医学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 高次脳機能障害に対する認知リハビリテーション 2 動作、行為、行動に関わる神経機構解明 3 疼痛の病態生理とコントロール 4 痙縮治療の運動学的解析 5 神経筋疾患に対する車いすシーティング

フロンティア医学研究所	分子医科学部門	1 疾患の発生メカニズムを細胞レベルで解明し、新たな診断、治療への応用を目指す研究
	ゲノム医科学部	1 ヒト癌の発生機序の解明 2 がん関連遺伝子の機能の解明 3 癌における細胞周期チェックポイント異常の解析 4 癌の遺伝子治療の基礎研究 5 ヒトゲノム情報活用基盤技術の確立
	組織再生学部門	1 肝幹・前駆細胞の増殖・分化能についての研究 2 体外で肝組織の形成を試みる研究 3 細胞移植による肝臓病治療を可能にするための基礎研究 4 ヒト肝幹・前駆細胞の研究 5 人工肝臓研究
	遺伝子工学部門	1 遺伝子工学技術の開発とそれを利用した疾患の病態解明と治療への応用を目指す研究
	病態情報学部門	1 血清プロテオミクスを用いた病態マーカーの探索 2 アルツハイマー病の診断システムの開発 3 発生工学を用いた診断・治療モデルの開発 4 ヒト介在試験フィールドの構築 5 システム理論によるヒューマンインターフェースの研究
	神経再生医療学部門	1 幹細胞の増殖・分化に関する研究 2 幹細胞の分化制御に関する研究 3 幹細胞の癌化に関する研究 4 傷害された脳や脊髄の可塑性や再生に関する研究 5 幹細胞を用いた再生治療に関する基礎的研究 6 各種脳神経疾患への臨床研究 7 細胞治療の効果判定のための新しい方法の開発研究 8 再生医療の推進のための基盤整備に関する研究 9 臨床グレードの幹細胞の供給システムの確立に関する開発研究
	医生物学部門	1 免疫学などの医学研究及びその研究成果の応用を目指す研究
動物実験施設部	1 遺伝子操作動物を用いた疾患の発病機序解析 2 ライム病およびマダニ媒介性疾患の疫学と発病機序 3 抗菌ステロイドによる局所感染の防御と治療に関する研究 4 開発途上国の食品の食中毒菌汚染に対するPCRを用いた調査研究 5 開発途上国における仔牛下痢症の原因に対するPCRを用いた調査研究 6 牛抗菌ペプチドBMAP-28の疾病予防への応用性に関する研究 7 嫌気性菌による炎症病変の惹起機構	

看護学	基礎・臨床医学座	<ol style="list-style-type: none"> 1 免疫細胞分化の多様性と疾患病態との関連 2 ソーティングネキシンファミリーによる高次機能の調節機構 3 化学物質の職業暴露による生殖毒性影響、神経行動機能影響に関する研究 4 超音波の生体に及ぼす影響に関する研究 5 保健医療情報管理に関する研究
	看護学第一講座	<p><基礎看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 看護倫理教育に関する研究 2 看護技術の習得過程における教授学的研究 3 ストレスに対する心血管系の反応に関する研究 4 看護教育・看護管理に関する歴史的研究 <p><成人看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 クリティカル看護とその教育に関する研究 2 ストレスと生体応答に関する研究 3 救急医療従事者の心身の健康に関する研究 4 慢性病患者の病いに関する研究
	看護学第二講座	<p><母性看護学 / 小児看護学 / 看護管理学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 助産師の実践に関する研究 2 母性看護学実習に関する研究 3 子育て支援の実践 4 性教育に関する研究 5 慢性疾患をもつ小児と家族への看護援助に関する研究 6 小児の遊びと発達支援に関する研究 7 病児へ医療処置を説明することとプレパレイション 8 児童・生徒に対する喫煙防止教育方法の開発 9 ヘルスケア向上の医療・看護提供サービスシステムの設計・開発・検証 10 補完代替療法活用の健康増進プログラムの開発や効果に関する研究
	看護学第三講座	<p><地域看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保健師活動の理論と実践に関する研究 2 保健師のキャリア発達に関する研究 3 コーチングを用いた保健指導や相談に関する研究 4 育児支援に関する研究 5 不適切な養育（マルトリートメント）の予防と介入に関する研究 6 生活習慣病予防に関するライフスタイルの研究 7 コミュニティ・アセスメントに関する研究 8 訪問看護ステーションの基盤強化に関する研究 9 海外渡航者・海外赴任者の健康に関する研究 10 社会的健康被害者に関する研究 <p><老年看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 可動性が低下した高齢者への看護援助に関する研究 2 認知症高齢者の看護援助に関する研究 3 リハビリテーション看護の専門性の確立に関する研究 4 高齢者の安全な生活環境と転倒に関する研究 <p><精神看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 精神障害のある人を成員とする家族に関する研究 2 子ども虐待における看護援助に関する研究 3 自死遺族のSpiritual Careに関する研究 4 患者 - 看護師関係に関する研究 5 夫婦間暴力と女性の精神的健康に関する研究

理学療法学科	理学療法学第一座講	<ul style="list-style-type: none"> 1 運動発達遅滞児および障害児の運動学的神経学的研究 2 姿勢制御と歩行に関する運動学的研究 3 脳卒中の姿勢と運動障害に関する神経生理学的研究 4 高齢者の運動機能と健康の関係 5 高齢者の動作・運動制御に関する研究 6 骨格筋の萎縮・肥大に関する研究、義肢・装具の適用の研究、固有受容性神経筋促通治療学(P.N.F)の研究 7 炎症性疾患に伴う筋機能低下のメカニズム解明及びその治療法の開発
	理学療法学第二座講	<ul style="list-style-type: none"> 1 スポーツ外傷障害の予防と治療、そしてリハビリテーションに関する研究 2 筋骨格系の機能解剖学的研究 3 筋骨格系のバイオメカニクスに関する研究 4 車いす/座位保持装置に関する研究 5 四肢関節・靭帯・筋の生体力学的観察と運動療法のエビデンス解析 6 感覚と運動の仕組み、及びそれらを応用した治療に関する神経科学的研究 7 運動器疾患の予防と治療のための運動学的及び疫学的研究 8 スポーツに関する神経科学的研究 9 超音波画像を応用した運動器障害理学療法診断に関する研究 10 循環器疾患を対象とする運動療法効果に関する研究 11 身体運動時の骨格筋機能に関する研究
作業療法学科	作業療法学第一座講	<ul style="list-style-type: none"> 1 身体障害に対する作業療法の評価及び治療効果に関する研究 2 日常生活動作に関する手指動作の解析 3 麻痺肢の運動機能解析 4 高齢障害者に対する作業療法の研究 5 地域・在宅における作業療法の方策に関する研究 6 遺伝性神経筋疾患の分子遺伝学的研究
	作業療法学第二座講	<ul style="list-style-type: none"> 1 軽度発達障害の障害構造の解明および治療方法の確立 2 神経・精神機能の機構解明とその治療に関する研究 3 精神障害・認知症の作業療法効果に関する研究 4 統合失調症の治療アドヒアランス要因に関する研究 5 うつ病の認知行動療法的介入効果に関する研究 6 青年期アスペルガー症候群のグループ支援に関する研究

ウ 医療人育成センター

教 養 教 育 科 目	哲 学 ・ 倫 理 学	<ul style="list-style-type: none"> 1 医学哲学・生命倫理学研究 2 多様な人間観・生命観・死生観についての哲学的研究 3 古代以降のヨーロッパ思想史の研究
	心 理 学	<ul style="list-style-type: none"> 1 心臓血管系血行力学及び自律神経調節機能の無侵襲計測に関連する心理生理学研究 2 心理社会的ストレスに関する心理生理学的研究 3 ストレスマネジメントの心理生理学的研究 4 乳幼児の情動発達と他者理解に関する研究
	法 学 ・ 社 会 学	<ul style="list-style-type: none"> 1 権利論、正義論を中心とした法理論の基礎的研究 2 生命誕生や死の迎え方など生命倫理に関する基礎的テーマについての研究 3 医療におけるリスクマネジメント、再生医療をめぐる生命・医療倫理 4 アジアの企業におけるHIV/AIDS対策に関する医療人類学研究 5 日本とアメリカの医学・医療系教育における多文化医療教育 6 離島の子どもの身体観・健康観・医療観と医療環境とのかかわりに関する人類学的研究
	英 語	<ul style="list-style-type: none"> 1 英国ヴィクトリア朝の文学 2 英語学・認知言語学・類型論 3 日本学、日米比較文化論 4 関連性理論に基づく発話の解釈 5 言語接触と変異 - スコットランドの言語社会を中心として -
	運 動 科 学	<ul style="list-style-type: none"> 1 生活習慣病の予防及び体力の維持・増進への運動と栄養の効果に関する研究 2 高齢者の医療費、ADL低下の抑制と健康習慣の関係についての研究 3 アスリートのライフマネジメント、並びに摂食障害に関する研究
	物 理 学	<ul style="list-style-type: none"> 1 放射線防護と緊急被曝医療 2 国民保護のための核防護学 3 医学物理 4 蛋白質タンデムリピートの構造、機能及び分子進化に関する研究 5 X線溶液散乱及び核磁気共鳴測定による蛋白質の立体構造研究
	化 学	<ul style="list-style-type: none"> 1 脳組織の修飾糖脂質の構造解析に関する研究 2 アポトシス誘引脂質の合成酵素に関する研究 3 菌類由来抗酸化物質の解析研究
	生 物 学	<ul style="list-style-type: none"> 1 遺伝子の転写制御と肉腫の分子病態に関する研究 2 線虫類の系統分類学・生態学的研究 3 ライプセルイメーキングによる免疫シナプス構築過程におけるシグナル分子動態解析 4 学生参加型授業の実践とその教育効果について
	数 学 ・ 情 報 科 学	<ul style="list-style-type: none"> 1 統計データ解析 2 微分方程式の漸近理論 3 眼球モデルを用いた血液網膜柵の透過性機能に関する研究 4 軟X線デジタル画像を用いたラットの骨密度・総骨塩量などの計測に関する研究 5 遠隔保健医療（テレヘルス）システムの構築に関する研究 6 高精度反応時間計測システムの研究開発と臨床応用

エ 寄附講座

緩和医療学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 有効な緩和医療を提供するためのチームアプローチに関する研究 2 有効な緩和医療を提供するための患者評価法に関する研究 3 緩和ケアプログラムの地域介入と緩和ケア均てん化に関する研究 4 オピオイド感受性の個人差と遺伝子多型に関する研究 5 骨がん疼痛に対する新規治療法に関する臨床研究 6 化学療法による末梢神経障害機序と治療法に関する臨床研究 7 難治性がん疼痛の神経科学的基盤解明と新たな治療法開発に関する基礎的研究 8 化学療法による末梢神経障害機序と治療法に関する基礎的研究
分子標的探索講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 がん細胞におけるTGF /PP2A/P53シグナルの解明に基づくがんの治療法の開発（橋渡し研究） 2 がん細胞・炎症細胞、血管内皮細胞のモテリティシグナルの解明に基づくがん転移、慢性炎症の治療法の開発（橋渡し研究） 3 がん随伴繊維芽細胞を標的とした新規がん治療法の開発 4 膵がんの集学的遺伝子治療 5 大腸がんの化学予防に関する研究 6 組織リモルディングにともなう幹細胞活性化の機構解明

オ 特設講座

神経再生医学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 幹細胞の増殖・分化に関する研究 2 幹細胞の分化制御に関する研究 3 幹細胞の癌化に関する研究 4 傷害された脳や脊髄の可塑性や再生に関する研究 5 幹細胞を用いた再生治療に関する基礎的研究 6 各種脳神経疾患への臨床研究 7 細胞治療の効果判定のための新しい方法の開発研究 8 再生医療の推進のための基盤整備に関する研究 9 臨床グレードの幹細胞の供給システムの確立に関する開発研究
オホーツク医療環境研究講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 医師の地域偏在の課題解析及び対応策の研究 2 地域医療を担う医師を養成するための研修プログラム、研究カリキュラムの研究及び策定 3 地域の医師不足を補う手法の研究 4 地域医療を担う医師の養成と実施教育 5 地域医療に従事する医師への支援 6 札幌医科大学専門看護師教育課程への看護師派遣 7 地域病院における看護水準向上のための研修会の開催 8 心臓リハビリテーション指導士の養成と地域のリハビリテーション水準の向上のための教育手法の研究及び実施 9 理学療法士等の総合的理学療法、発達障害患者のケアに関する教育研究及び実施 10 作業療法士の手の外科に対する作業療法（ハンドセラピー）に関する教育研究及び実施
道民医療推進学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域特性を踏まえた医療ニーズの探索研究 2 地域医療を担う医師に対する医学知識の刷新及び再研修方法の研究 3 地域医療機関の機能分化と連携方法の検討による医療供給体制の構築の確立 4 地域の医療水準を向上するためのコメディカルに対する教育・指導法の研究及び実践 5 地域基幹病院と講座の医療情報の迅速な共有化手法を研究することによる遠隔診断・治療方法の確立及び臨床 6 地域住民の健康意識向上のための啓発・教育に関する研究及び実践
南檜山周産期環境研究講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 周産期医療を担う産科医師の養成に関する調査・研究 2 地域において産科医師が安全に分娩業務を行う体制の構築に係る研究 3 助産師をはじめとするコメディカルの養成に関する調査・研究 4 産科医・麻酔科医連携に関する調査・研究 5 地域における周産期医療水準の向上に係る調査・研究

(9)文部科学省 G P の採択・実施状況

(平成23年10月1日現在)

ア 平成19年度がんプロフェッショナル養成プラン

(ア)事業名：北海道の総合力を生かすプロ養成プログラム

- 大学、地域、病院の連携を生かしたがん専門医療人の育成を目指して -

(イ)年次：平成19年度～平成23年度

(ウ)概要：がん医療の担い手となる高度な知識・技術を持つがん専門医師及びがんに関わるコメディカル等、がんに特化した医療人の養成を行う大学院教育プログラムである。

北海道大学、旭川医科大学、北海道医療大学と共同申請

イ 平成20年度大学病院連携型高度医療人養成推進事業

(ア)事業名：自立した専門医を育むオール北海道プラス1

(イ)年次：平成20年度～平成24年度

(ウ)概要：専門医を育成し、その専門医が大学あるいは教育病院で指導医として専門研修医の教育にあたるシステムを確立する。この間、道内全3医大間で共有した地域関連教育病院で幅広い一般診療経験を、道外の東京慈恵会医科大学が加わった4大学病院で高度な専門性を習得する。

北海道大学、旭川医科大学、東京慈恵会医科大学と共同申請

ウ 平成21年度戦略的大学連携支援事業

(ア)事業名：QOL向上を目指す専門職間連携教育用モジュール中心型カリキュラムの共同開発と実践

(イ)年次：平成21年度～平成23年度

(ウ)概要：保健・医療・福祉分野における最優先的命題であるQOL向上を図るため、3分野の専門職を目指す学生が、専門職間連携教育（IPE）カリキュラムに基づいたチーム演習を通じて、他学科の学生と協力して問題解決を図り、支援策を提案できるように育成する取組みである。

新潟医療福祉大学、埼玉県立大学、首都大学東京、日本社会事業大学と共同申請

(10) 国際交流

ア 国際医学交流

北方圏諸国をはじめとする世界の諸大学の医学研究者との相互派遣を通じて学術交流を拡充推進し、世界標準の医学教育機関としての発展を図るとともに、道民の保健医療の向上に寄与することを目的としている。

学生が国際的視野を身につけ、将来の活動の基礎を築くことをねらいとし、平成11年度からカナダ・アルバータ大学語学研修への派遣、平成21年度からは中国医科大学の臨床実習の相互交流を実施している。

また、平成23年度に韓国カトリック大学と新たに交流協定を締結し、臨床実習の相互交流を実施する。

(平成23年5月31日現在)

		フィンランド	カナダ		中国		アメリカ	韓国
協定締結先		パウロ財団 (ヘルシンキ、トウキョウ、カハレ、ウチオ大学)	アルバータ大学	カルガリー大学	中国医科大学	佳木斯大学	マサチューセッツ 州立大学	韓国カトリック 大学
開始年度		1977	1983	1984	1982	2008	1994	2011
現協定期限		H19.5-24.5	H21.2-26.2	H20.7-23.6	H22.4-25.3	H23.4-26.3	H22.9-25.8	H23.5-26.5
派遣 (年間)	協定人数	1名(1~2ヶ月)	1名(6週間)	1名(2週間) 1名(6週間)	1名(15日間)	1名 (30日以内)	1名(2週間)	
	派遣総数	33名	36名	32名	44名	2名	22名	
受入 (年間)	協定人数	1名(1~2ヶ月)	1名(6週間)	1名(2週間) 1名(6週間)	1名(15日間)	1名 (30日以内)	1名(2週間)	
	受入総数	33名	29名	31名	40名	3名	9名	
その他 協定の概要		・旅費は派遣大学、滞在費は受入大学が負担する。 (アルバータ大学及びマサチューセッツ州立大学においては、旅費と滞在費を派遣大学が負担し、受入大学側は宿泊施設を手配する。)						
学生派遣			【語学研修】 16年度 中止 17年度 12名 18年度 6名 19年度 8名 20年度 9名 21年度 中止 22年度 10名 23年度 8名	【臨床研修(血液学)】 16年度 4名 17年度 4名 18年度 4名 19年度 6名 20年度~休止	【臨床実習】 21年度 中止 22年度 2名 23年度 2名			【臨床実習】 23年度 2名

イ 訪問教授・訪問研究員の受入れ

学術研究の交流を図り、科学技術の進展に寄与するため、他の研究機関等に所属する者が本学での研究を希望するときは、所属長の推薦に基づき、訪問教授または訪問研究員として受入れている(日本人、外国人の区別はない)。

この場合、必要な費用は本人又は相手側の所属機関が負担し、本学は研究指導等の便宜を図るものとしている。

従って、毎年の受入れ人数、期間等の制限はないが、受入れ講座等の事情により限度がある。

・最近の外国からの受け入れ状況

平成13年度12名 平成14年度15名 平成15年度18名 平成16年度13名 平成17年度17名 平成18年度10名
平成19年度15名 平成20年度13名 平成21年度7名 平成22年度5名

ウ 教員在外研究等

(平成23年3月31日現在)

国名・地域	派遣者数		国名・地域	派遣者数		国名・地域	派遣者数	
	22年度	21年度		22年度	21年度		22年度	21年度
【アジア】			【中東】			【ヨーロッパ】		
インド	2	1	トルコ	2	4	イギリス	1	2
インドネシア		2	ヨルダン		1	イタリア	3	2
韓国	21	17	【アフリカ】			オーストリア	1	5
シンガポール	5	2	エジプト		1	オランダ	1	2
カボネール	1		【オセアニア】			ギリシャ	1	
スリランカ		1	オーストラリア	2	6	クロアチア		2
タイ	4	5	ニュージーランド	1	1	スイス		2
台湾	2	9	【北米】	59	75	スウェーデン	3	1
中国	13	8	アメリカ合衆国	12		スペイン	10	6
ハンガリー	2	1	カナダ			スロベニア	2	
ベトナム	2	3	【中南米】	2		セルビア		1
マレーシア	1	1	アルゼンチン	1	1	デンマーク	1	
ミャンマー	1	1	キューバ	4		ドイツ	2	1
モンゴル	2	1	リベリア			ハンガリー	3	1
ロシア	1					フィンランド	4	3
						フランス	11	11
						ベルギー	2	
						ポルトガル	2	3
						合計	187	180

エ 国際医学交流センター

本学における国際交流をさらに進めるための施設として、国際医学交流センターを整備している。

- (1) 会議室(1室)、研修室(2室) セミナーや共同研究に使用する。(研修室の1室は、茶会などにも利用できる和室)
- (2) 多目的ホール(2室) 国際友好・交流に使用する多目的ホール
- (3) 宿泊室(3カ所、ツイン1室) 外国人研究者が利用できる宿泊室

(11) 標本館

標本館は医学・生物学的標本及び関連資料を総合的に収集、製作、保存し、それらを系統的に展示し、本学の教育、研究に資することを目的として昭和47年4月に開館した。近年コ・メディカル関係の教育機関が増加したのに伴い、これらの生徒に対しても見学実習のための利用に応じている。

また、「標本館だより」を毎年定期的に発行、学内配付のほか、全国の関係機関に送付している。

ア 歴代館長

昭和47年4月27日 - 昭和49年3月31日	三橋 公平 (解剖学第二講座教授)
昭和49年4月1日 - 昭和53年3月31日	八十島 信之助 (法医学講座教授)
昭和53年4月1日 - 昭和57年3月31日	菊地 浩吉 (病理学第一講座教授)
昭和57年4月1日 - 昭和61年3月31日	山崎 英雄 (生物学教授)
昭和61年4月1日 - 昭和63年3月31日	森 道夫 (病理学第二講座教授)
昭和63年4月1日 - 平成2年3月31日	百々 幸雄 (解剖学第二講座教授)
平成2年4月1日 - 平成7年3月31日	高橋 杏三 (解剖学第一講座教授)
平成7年4月1日 - 平成11年3月31日	森田 匡彦 (法医学講座教授)
平成11年4月1日 - 平成16年3月31日	佐藤 昇志 (病理学第一講座教授)
平成16年4月1日 - 平成18年3月31日	澤田 典均 (病理学第二講座教授)
平成18年4月1日 - 平成22年3月31日	辰巳 治之 (解剖学第一講座教授)
平成22年4月1日 - 現 在	松本 博志 (法医学講座教授)

イ 概況

(平成23年10月1日現在)

資料分類		点数
肉眼標本	液浸標本 樹脂包埋標本 シリコン含浸標本 鋳型標本 乾燥標本 剥製標本	1,319
模型	人体解剖模型 化石人骨模 ムラージュ 動物模型	129
顕微鏡用スライド 投影用スライド 大切片標本	人体組織 病理組織 動物組織 胎児連続切片	41,773
医療機器・医療器具	手術器具・内視鏡・ペースメーカー・検眼鏡・顕微鏡の変遷他	484
視聴覚資料	ビデオ・DVD他	113
図書類	古医書・一般医学関係書 臨床X線写真診断学体系	938
他の医学関係資料	パネル・写真・薬袋 大学関係資料他	472
合 計		45,228

ウ 利用状況

利用の内訳	見学	情報機器の 使用	顕微鏡の 使用	ビデオ教材の 使用	セミナー 自習
学内					
教職員	160	12	160	0	31
学生	360	3	3	0	156
学外					
医療関係者	3,585	0	49	2,294	627
計	4,105	15	212	2,294	814

2 学事事項

(1) 学生に関する事項

ア 年度別志願者及び入学者数

区分 年度	専 門 課 程			進 学 課 程			医 学 部			保 健 医 療 学 部			備 考
	志願者数	入学者数	志願者倍率	志願者数	入学者数	志願者倍率	志願者数	入学者数	志願者倍率	志願者数	入学者数	志願者倍率	
	A	B	$\frac{A}{B}$	C	D	$\frac{C}{D}$	E	F	$\frac{E}{F}$	G	H	$\frac{G}{H}$	
昭和25年度	69	44	1.57										
昭和26年度	170	41	4.15										
昭和27年度	183	45	4.07										
昭和28年度	232	65	3.57										
昭和29年度	300	66	4.55										
昭和30年度	332	66	5.03										昭和30年度から進学課程教育を北大に委託した
昭和31年度	401	66	6.08										
昭和32年度		65											
昭和33年度		59		951	66	14.41							昭和32年度から北大への委託生が進学した
昭和34年度		58		996	66	15.09							昭和33年度に進学課程が設置された
昭和35年度				995	68	14.63							昭和34年度で北大への委託を修了した
昭和36年度				878	71	12.37							
昭和37年度				941	67	14.04							
昭和38年度				957	87	11.00							
昭和39年度				1,322	87	15.20							
昭和40年度				1,566	81	19.33							
昭和41年度				1,924	79	24.35							
昭和42年度				390	87	4.48							
昭和43年度				674	80	8.43							
昭和44年度				709	84	8.44							
昭和45年度				989	80	12.36							
昭和46年度				860	85	10.12							
昭和47年度				832	80	10.40							
昭和48年度				810	86	9.42							
昭和49年度				778	100	7.78							
昭和50年度				868	100	8.68							
昭和51年度				683	99	6.90							
昭和52年度				840	97	8.66							
昭和53年度				793	100	7.93							昭和54年度から進学課程及び専門課程が廃止され6年間一貫教育体制となった
昭和54年度							483	100	4.83				昭和54年度から大学入学者の選抜は、共通第1次学力試験と札幌医科大学の第2次学力試験により行われた
昭和55年度							314	100	3.14				
昭和56年度							355	101	3.51				
昭和57年度							362	100	3.62				
昭和58年度							517	100	5.17				
昭和59年度							495	100	4.95				
昭和60年度							354	100	3.54				
昭和61年度							357	100	3.57				
昭和62年度							729	105	6.94				
昭和63年度							655	100	6.55				昭和62年度から国公立大学の受験機会の複数化が実施された
平成元年度							536	103	5.20				
平成2年度							589	100	5.89				平成2年度から大学入試センター試験実施
平成3年度							521	101	5.16				
平成4年度							603	100	6.03				
平成5年度							506	100	5.06	932	95	9.81	平成5年度に保健医療学部が設置された
平成6年度							777	104	7.47	490	98	5.00	
平成7年度							563	98	5.74	422	98	4.31	
平成8年度							638	101	6.32	372	96	3.88	
平成9年度							1,042	99	10.53	410	96	4.27	平成9年度から入学者選抜の方法が分離分割方式となり、受験機会が複数化された
平成10年度							848	100	8.48	466	96	4.85	
平成11年度							799	100	7.99	404	97	4.16	
平成12年度							1,153	100	11.53	435	95	4.58	
平成13年度							809	100	8.09	457	97	4.71	
平成14年度							972	100	9.72	411	97	4.24	
平成15年度							941	100	9.41	427	96	4.45	
平成16年度							648	100	6.48	462	94	4.91	
平成17年度							912	100	9.12	452	96	4.71	
平成18年度							689	100	6.89	450	99	4.55	
平成19年度							713	101	7.06	342	99	3.45	
平成20年度							535	106	5.05	379	94	4.03	
平成21年度							532	110	4.84	348	93	3.74	
平成22年度							492	110	4.47	186	91	2.04	
平成23年度							576	110	5.24	188	90	2.09	

イ 定員及び現員数

(平成23年5月1日現在 単位:人)

学部	学年	入学定員	1年		2年		3年		4年		5年		6年		計 現員
			現員	()	現員	()	現員	()	現員	()	現員	()	現員	()	
医学部	医学科	110	115	(35)	113	(32)	104	(25)	104	(28)	104	(30)	100	(31)	640 (181)
保健医療学部	看護学科	50	50	(44)	49	(42)	48	(44)	53	(42)					200 (172)
	編入学生数		0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)					0 (0)
	計		50	(44)	49	(42)	48	(44)	53	(42)					200 (172)
	理学療法学科	20	20	(6)	19	(6)	20	(10)	23	(8)					82 (30)
	編入学生数		0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)					0 (0)
	計		20	(6)	19	(6)	20	(10)	23	(8)					82 (30)
	作業療法学科	20	20	(13)	21	(15)	21	(14)	22	(13)					84 (55)
	編入学生数		0	(0)	0	()	0	(0)	0	(0)					0 (0)
	計		20	(13)	21	(15)	21	(14)	22	(13)					84 (55)
	編入学生総計	90	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)					0 (0)
小計	90	90	(63)	89	(63)	89	(68)	98	(63)					366 (257)	
学部合計		200	205	(98)	202	(95)	193	(93)	202	(91)	104	(30)	100	(31)	1,006 (438)
医学研究科	博士課程	50	46	(9)	52	(13)	48	(10)	39	(5)	0	(0)			185 (37)
	地域医療人間総合医学	18	14	(2)	13	(5)	8	(3)	9	(0)					44 (10)
	分子・器官制御医学	20	20	(4)	25	(6)	29	(7)	22	(4)					96 (21)
	情報伝達学	12	12	(3)	14	(2)	11	(0)	8	(1)					45 (6)
	修士課程	10	9	(5)	10	(6)									19 (11)
	医科学	10	9	(5)	10	(6)									19 (11)
	小計	60	55	(14)	62	(19)	48	(10)	39	(5)	0	(0)	0	(0)	204 (48)
保健医療学研究科	看護学	博士課程前期	12	6	(4)	13	(13)	0	(0)						19 (17)
	博士課程後期	2	1	(1)	2	(2)	6	(6)							9 (9)
	理学療法・作業療法	博士課程前期	12	11	(3)	13	(3)	0	(0)						24 (6)
	博士課程後期	6	7	(0)	7	(2)	17	(5)							31 (7)
	小計	32	25	(8)	35	(20)	23	(11)							83 (39)
大学院合計		92	80	(22)	97	(39)	71	(21)	39	(5)	0	(0)	0	(0)	287 (87)
総合計		292	285	(120)	299	(134)	264	(114)	241	(96)	104	(30)	100	(31)	1,293 (525)

()内は女子学生数(内数)

ウ 出身地別現員数

(平成23年5月1日現在)

課程	学年	1年			2年			3年			4年		
		出身地 道内	道外	小計	道内	道外	小計	道内	道外	小計	道内	道外	小計
医学部	人	78	37	115	77	36	113	78	26	104	76	28	104
	%	67.8	32.2	100.0	68.1	31.9	100.0	75.0	25.0	100.0	73.1	26.9	100.0
保健医療学部	人	89	1	90	87	2	89	83	6	89	92	6	98
	%	98.9	1.1	100.0	97.8	2.2	100.0	93.3	6.7	100.0	93.9	6.1	100.0
医学研究科	人	42	13	55	49	13	62	35	13	48	34	5	39
	%	76.4	23.6	100.0	79.0	21.0	100.0	72.9	27.1	100.0	87.2	12.8	100.0
保健医療学研究科	人	24	1	25	22	13	35	18	5	23			
	%	96.0	4.0	100.0	62.9	37.1	100.0	78.3	21.7	100.0			
計	人	233	52	285	235	64	299	214	50	264	202	39	241
	%	81.8	18.2	100.0	78.6	21.4	100.0	81.1	18.9	100.0	83.8	16.2	100.0

課程	学年	5年			6年			道内計	道外計	合計
		出身地 道内	道外	小計	道内	道外	小計			
医学部	人	76	28	104	75	25	100	460	180	640
	%	73.1	26.9	100.0	75.0	25.0	100.0	71.9	28.1	100.0
保健医療学部	人							351	15	366
	%							95.9	4.1	100.0
医学研究科	人							160	44	204
	%							78.4	21.6	100.0
保健医療学研究科	人							64	19	83
	%							77.1	22.9	100.0
計	人	76	28	104	75	25	100	1,035	258	1,293
	%	73.1	26.9	100.0	75.0	25.0	100.0	80.0	20.0	100.0

(2) 年次別卒業生数

ア 医学部

(単位：人)

区分 卒業年次	卒業生	出身地		区分 卒業年次	卒業生	出身地		区分 卒業年次	卒業生	出身地	
		道内	道外			道内	道外			道内	道外
昭和 29 年 (第 1 回)	36	22	14	昭和 49 年 (第 21 回)	84	74	10	平成 6 年 (第 41 回)	99	79	20
昭和 30 年 (第 2 回)	41	35	6	昭和 50 年 (第 22 回)	77	57	20	平成 7 年 (第 42 回)	91	70	21
昭和 31 年 (第 3 回)	47	41	6	昭和 51 年 (第 23 回)	65	54	11	平成 8 年 (第 43 回)	100	74	26
昭和 32 年 (第 4 回)	66	58	8	昭和 52 年 (第 24 回)	80	62	18	平成 9 年 (第 44 回)	101	74	27
昭和 33 年 (第 5 回)	69	60	9	昭和 53 年 (第 25 回)	92	74	18	平成 10 年 (第 45 回)	100	66	34
昭和 34 年 (第 6 回)	58	49	9	昭和 54 年 (第 26 回)	90	81	9	平成 11 年 (第 46 回)	102	80	22
昭和 35 年 (第 7 回)	67	54	13	昭和 55 年 (第 27 回)	94	84	10	平成 12 年 (第 47 回)	100	58	42
昭和 36 年 (第 8 回)	62	54	8	昭和 56 年 (第 28 回)	95	81	14	平成 13 年 (第 48 回)	109	60	49
昭和 37 年 (第 9 回)	59	35	24	昭和 57 年 (第 29 回)	95	84	11	平成 14 年 (第 49 回)	99	58	41
昭和 38 年 (第 10 回)	59	32	27	昭和 58 年 (第 30 回)	107	96	11	平成 15 年 (第 50 回)	94	62	32
昭和 39 年 (第 11 回)	63	54	9	昭和 59 年 (第 31 回)	99	87	12	平成 16 年 (第 51 回)	101	74	27
昭和 40 年 (第 12 回)	65	58	7	昭和 60 年 (第 32 回)	94	90	4	平成 17 年 (第 52 回)	103	72	31
昭和 41 年 (第 13 回)	66	54	12	昭和 61 年 (第 33 回)	97	90	7	平成 18 年 (第 53 回)	95	60	35
昭和 42 年 (第 14 回)	62	58	4	昭和 62 年 (第 34 回)	86	75	11	平成 19 年 (第 54 回)	103	67	36
昭和 43 年 (第 15 回)	62	58	4	昭和 63 年 (第 35 回)	89	79	10	平成 20 年 (第 55 回)	103	73	30
昭和 44 年 (第 16 回)	80	71	9	平成 元年 (第 36 回)	116	96	20	平成 21 年 (第 56 回)	100	62	38
昭和 45 年 (第 17 回)	74	63	11	平成 2 年 (第 37 回)	92	79	13	平成 22 年 (第 57 回)	97	75	22
昭和 46 年 (第 18 回)	78	63	15	平成 3 年 (第 38 回)	101	85	16	平成 23 年 (第 58 回)	101	76	25
昭和 47 年 (第 19 回)	73	60	13	平成 4 年 (第 39 回)	99	84	15	合計	4,913	3,873	1,040
昭和 48 年 (第 20 回)	69	55	14	平成 5 年 (第 40 回)	107	87	20				

イ 保健医療学部

(単位：人)

区分 卒業年次	看護学 卒業生数	理学療法学科 卒業生数	作業療法学科 卒業生数	卒業生数合計	出身地	
					道内	道外
平成 9 年 (第 1 回)	48	21	19	88	76	12
平成 10 年 (第 2 回)	(3)	(3)	(3)	(9)	(8)	(1)
平成 11 年 (第 3 回)	51	25	22	98	72	26
平成 12 年 (第 4 回)	(8)	(1)	(0)	(9)	(6)	(3)
平成 13 年 (第 5 回)	61	21	20	102	71	31
平成 14 年 (第 6 回)	(5)	(2)	(4)	(11)	(11)	(0)
平成 15 年 (第 7 回)	54	23	23	100	78	22
平成 16 年 (第 8 回)	(9)	(2)	(2)	(13)	(9)	(4)
平成 17 年 (第 9 回)	58	22	24	104	79	25
平成 18 年 (第 10 回)	(8)	(2)	(2)	(12)	(8)	(4)
平成 19 年 (第 11 回)	54	24	21	99	76	23
平成 20 年 (第 12 回)	(5)	(3)	(2)	(10)	(9)	(1)
平成 21 年 (第 13 回)	57	27	24	108	93	15
平成 22 年 (第 14 回)	(5)	(2)	(0)	(7)	(7)	(0)
平成 23 年 (第 15 回)	53	23	21	97	83	14
平成 24 年 (第 16 回)	(5)	(2)	(0)	(7)	(7)	(0)
平成 25 年 (第 17 回)	52	21	23	96	83	13
平成 26 年 (第 18 回)	(4)	(2)	(1)	(7)	(5)	(2)
平成 27 年 (第 19 回)	49	30	21	100	85	15
平成 28 年 (第 20 回)	(4)	(1)	(2)	(7)	(5)	(2)
平成 29 年 (第 21 回)	56	23	23	102	91	11
平成 30 年 (第 22 回)	(1)	(1)	(0)	(2)	(2)	(0)
平成 31 年 (第 23 回)	49	22	21	92	82	10
平成 32 年 (第 24 回)	()	()	()	(0)	()	()
平成 33 年 (第 25 回)	52	18	19	89	84	5
平成 34 年 (第 26 回)	()	()	()	(0)	()	()
平成 35 年 (第 27 回)	55	23	22	100	89	11
平成 36 年 (第 28 回)	()	()	()	()	()	()
平成 37 年 (第 29 回)	52	21	23	96	93	3
合計	(57)	(21)	(16)	(94)	(77)	(17)
	801	344	326	1,471	1,235	236

1 出身地は学位記記載の本籍地による

2 ()内は編入学生数(内数)

(3) 国家試験合格情報

ア 医師

区分	新卒者				既卒者			合計		
	卒業生	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第98回(平成16年)	101	101	98	97.0	4	2	50.0	105	100	95.2
第99回(平成17年)	103	103	97	94.2	5	4	80.0	108	101	93.5
第100回(平成18年)	95	95	94	98.9	6	6	100.0	101	100	99.0
第101回(平成19年)	103	102	97	95.1	1	1	100.0	103	98	95.1
第102回(平成20年)	103	103	99	96.1	6	4	66.7	109	103	94.5
第103回(平成21年)	100	100	98	98.0	6	4	66.7	106	102	96.2
第104回(平成22年)	97	97	91	93.8	4	4	100.0	101	95	94.1
第105回(平成23年)	101	101	98	97.0	3	2	66.7	104	100	96.2

イ 看護師

区分	新卒者				既卒者			合計		
	卒業生	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第93回(平成16年)	48	48	48	100.0	1	1	100.0	49	49	100.0
第94回(平成17年)	47	47	47	100.0	0	0	-	47	47	100.0
第95回(平成18年)	45	45	45	100.0	0	0	-	45	45	100.0
第96回(平成19年)	52	52	52	100.0	0	0	-	52	52	100.0
第97回(平成20年)	49	48	48	100.0	0	0	-	48	48	100.0
第98回(平成21年)	52	52	52	100.0	0	0	-	52	52	100.0
第99回(平成22年)	55	55	55	100.0	0	0	-	55	55	100.0
第100回(平成23年)	52	52	52	100.0	0	0	-	52	52	100.0

ウ 保健師

区分	新卒者				既卒者			合計		
	卒業生	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第90回(平成16年)	53	51	51	100.0	1	1	100.0	52	52	100.0
第91回(平成17年)	52	50	46	92.0	0	0	-	50	46	92.0
第92回(平成18年)	49	48	45	93.8	2	2	100.0	50	47	94.0
第93回(平成19年)	56	55	55	100.0	2	2	100.0	57	57	100.0
第94回(平成20年)	49	47	46	97.9	0	0	-	47	46	97.9
第95回(平成21年)	52	52	52	100.0	1	1	100.0	53	53	100.0
第96回(平成22年)	55	55	54	98.2	0	0	0.0	55	54	98.2
第97回(平成23年)	52	51	50	98.0	0	0	-	51	50	98.0

エ 理学療法士

区分	新卒者				既卒者			合計		
	卒業生	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第39回(平成16年)	23	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第40回(平成17年)	19	19	17	89.5	0	0	-	19	17	89.5
第41回(平成18年)	30	28	27	96.4	2	2	100.0	30	29	96.7
第42回(平成19年)	22	22	22	100.0	1	1	100.0	23	23	100.0
第43回(平成20年)	22	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第44回(平成21年)	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0
第45回(平成22年)	23	23	23	100.0	0	0	-	23	23	100.0
第46回(平成23年)	21	21	20	95.2	0	0	-	21	20	95.2

オ 作業療法士

区分	新卒者				既卒者			合計		
	卒業生	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第39回(平成16年)	21	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第40回(平成17年)	23	23	23	100.0	0	0	-	23	23	100.0
第41回(平成18年)	21	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0
第42回(平成19年)	21	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第43回(平成20年)	21	21	19	90.5	0	0	-	21	19	90.5
第44回(平成21年)	19	19	17	89.5	2	2	100.0	21	19	90.5
第45回(平成22年)	22	22	22	100.0	2	1	50.0	24	23	95.8
第46回(平成23年)	23	23	22	95.7	1	0	0.0	24	22	91.7

(4) 研究生数

(平成23年5月1日現在 単位:人)

区分	研究科目	人数	左のうち、研究外業務従事の許可を受けている者	区分	研究科目	人数	左のうち、研究外業務従事の許可を受けている者
医学部 基礎医学	解剖学第一	3	1	医学部 臨床医学	内科学第一	12	8
	解剖学第二	9	3		内科学第二	22	9
	細胞生理学				内科学第三	24	16
	神経科学				内科学第四	3	2
	医化学				神経内科学	5	1
	分子生物学				外科学第一	7	5
	病理学第一	4			外科学第二	2	1
	病理学第二	1			整形外科学	5	3
	微生物学				脳神経外科学	3	2
	薬理学				産婦人科学	1	
	衛生学				小児科学	19	8
	公衆衛生学	1			眼科学	3	
	法医学				皮膚科学	6	1
	医科知的財産管理学				泌尿器科学	2	
	フロンティア分子医科学				耳鼻咽喉科学	5	
	フロンティアゲノム医科学				神経精神医学	9	1
	フロンティア組織再生学				放射線医学	7	
	フロンティア遺伝子工学				麻酔科学	6	
	フロンティア病態情報学	1			地域医療総合医学		
	フロンティア神経再生医療学	1			臨床検査医学		
	フロンティア医生物学				救急・集中治療医学	17	9
教育研究機器センター			口腔外科学	6	3		
動物実験施設部			産科周産期科学				
附属総合情報センター	1		形成外科学	1			
基礎医学計	21	4	医療薬学				
保健医療学部	看護学			病理診断学			
	理学療法学	1		リハビリテーション医学	2		
	作業療法学			臨床医学計	167	69	
	保健医療学部計	1	0	医学部計	188	73	
医療人育成センター	物理学	1	1				
	生物学			合 計			
	化学	2		192			
	医療人育成センター計	3	1	74			

(5) 修士及び博士(医学)の学位授与者数

年度	区分 専攻 学位	修士 課程 医 科 学	本学大学院修了者(博士課程)								計	一 般 論 文 提 出 者	合 計	
			生 理 系	病 理 系	社 会 医 学 系	内 科 系	外 科 系	総 合 医 学 間	地 域 医 療 人 学	御 分 子 ・ 器 官 学				制 情 御 報 医 伝 学 達
昭和34年度~ 平成12年度			49	81	16	228	297					671	1,325	1,996
平成13年度			1			11	16					28	48	76
平成14年度			3	2		11	16					32	37	69
平成15年度				3		11	18					32	43	75
平成16年度						1	2	14	26	4		47	43	90
平成17年度								17	33	2		52	19	71
平成18年度						1		13	19	17		50	17	67
平成19年度								4	11	5		20	30	50
平成20年度								10	16	5		31	21	52
平成21年度		7						10	11	7		28	17	45
平成22年度		8						11	12	7		30	4	34
計		15	53	86	16	263	349	79	128	47	1,021	1,604	2,625	

(6) 修士及び博士(保健医療学)の学位授与者数

年度	区分 専攻 学位	本学大学院修了者						計
		修士課程			博士課程			
		看護学	理学療法学・作業療法学		看護学	理学療法学・作業療法学		
平成11年度		9	6	3				18
平成12年度		6	4	3				13
平成13年度		4	5	5				14
平成14年度		8	8	3		1	3	23
平成15年度		6	2	3		2	1	14
平成16年度		6	6	7		1	1	21
平成17年度		7	7	4		1	4	23
平成18年度		5	7	3		2	4	21
平成19年度		7	9	3		3	2	24
平成20年度		8	3	7	2		1	21
平成21年度		4	7	3	0	1	3	18
平成22年度		3	8	6	1	3	3	24
計		73	72	50	3	14	22	234

3 附 属 病 院

(1) 沿 革

昭和7年3月28日	財団法人北海道社会事業協会附属札幌病院として開院（病床数83床）
昭和20年4月1日	北海道に移管され北海道立女子医学専門学校附属医院となる
昭和25年4月1日	札幌医科大学附属病院に名称変更（病床数278床）
昭和26年11月26日	附属病院円山分院を開設（神経精神科）
昭和28年4月1日	歯科外来を基礎医学教室の一部に移転し診療設備を拡充
昭和29年12月30日	外科、整形外科病棟建築工事（最終）落成
昭和30年11月11日	本院汽缶棟建築工事落成
昭和32年3月31日	放射線病棟建築工事落成
昭和33年7月1日	産婦人科その他の病棟前期工事落成
昭和34年2月1日	産婦人科その他の病棟後期工事落成
昭和35年1月23日	中央病棟（内科病棟）建築工事落成
昭和37年3月31日	新外来棟建築第1期工事落成
昭和37年6月21日	新外来棟建築第2期工事・中央棟第1期工事落成
昭和37年7月11日	臨床講堂新築
昭和38年7月15日	南棟新築第1期工事落成
昭和39年8月3日	南棟新築第2期工事落成
昭和39年12月1日	中央棟第2期工事落成
昭和45年2月1日	副院長制（2人）施行
昭和50年11月1日	放射線管理室設置
昭和54年5月26日	附属病院中央エックス線部が中央放射線部に名称変更
昭和55年4月1日	附属病院がん研究内科が第4内科に名称変更
昭和58年7月2日	附属病院新棟第1期工事（病棟、中央部門、管理部門）落成
昭和58年8月1日	中央手術部が手術部に、中央検査部が検査診断部に、中央放射線部が放射線部に、中央材料部が医療材料部に、中央理療部がリハビリテーション部に災害外傷部が救急集中治療部に名称変更。共同研究施設部中央写真室が附属病院中央写真室に改正
昭和58年9月6日	附属病院円山分院を閉院
昭和60年7月1日	附属病院新棟第2期工事（外来診療棟、救急部門、リハビリ・麻酔病棟）落成
昭和61年4月1日	検査診断部が廃止され、検査部、機器診断部及び病理部が設置
昭和61年7月28日	附属病院新棟第2期工事（外構工事）完成
平成4年4月1日	神経内科、形成外科を新設し、産婦人科を婦人科及び産科周産期科に改正
平成5年4月1日	札幌医科大学医学部附属病院に名称変更
平成8年3月27日	エイズ拠点病院、ブロック拠点病院に選定
平成8年4月1日	特定機能病院承認
平成9年1月7日	災害拠点病院、基幹災害医療センター - 指定
平成11年3月24日	総合診療科を新設
平成14年4月1日	救命救急センター - を設置
平成14年10月1日	高度救命救急センター - を設置
平成15年9月1日	北海道リハビリテーション支援センター - 指定
平成16年4月1日	札幌医科大学附属病院に名称変更
平成16年9月27日	「病院機能評価」認定
平成18年2月1日	N I C Uを設置
平成19年4月1日	北海道公立大学法人へ移行

(2) 歴代病院長

昭和25年4月1日	-	昭和35年3月31日	瀧 本 庄 蔵
昭和35年4月1日	-	昭和39年3月31日	南 浦 邦 夫
昭和39年4月1日	-	昭和41年3月31日	高 山 坦 三
昭和41年4月1日	-	昭和45年3月31日	末 吉 利 三
昭和45年4月1日	-	昭和49年3月31日	浜 谷 松 夫
昭和49年4月1日	-	昭和51年3月31日	立 野 誠 吾

昭和51年4月1日	-	昭和53年3月31日		橋	場	輝	芳
昭和53年4月1日	-	昭和55年2月8日		河	邨	文	一郎
昭和55年2月9日	-	昭和55年2月29日	(事務代理)	神	村	瑞	夫
昭和55年3月1日	-	昭和57年3月31日		神	村	瑞	夫
昭和57年4月1日	-	昭和61年2月8日		漆	崎	一	朗
昭和61年2月9日	-	昭和61年2月28日	(事務代理)	熊	本	悦	明
昭和61年3月1日	-	平成2年2月28日		小	松	作	蔵
平成2年3月1日	-	平成4年2月8日		谷	内		昭
平成4年2月9日	-	平成4年2月29日	(事務取扱)	谷	内		昭
平成4年3月1日	-	平成8年2月29日		飯	村		攻
平成8年3月1日	-	平成10年2月28日		形	浦	昭	克
平成10年3月1日	-	平成12年2月29日		千	葉	峻	三
平成12年3月1日	-	平成14年2月28日		工	藤	隆	一
平成14年3月1日	-	平成16年2月29日		並	木	昭	義
平成16年3月1日	-	平成20年3月31日		島	本	和	明
平成20年4月1日	-	現 在		塚	本	泰	司

(3) 患者概況

ア 年間延患者数

(単位:人)

科別	部門 年度	外来部門			入院部門		
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
第一内科		33,238	31,564	32,721	17,241	16,935	18,088
第二内科		43,594	46,276	47,483	17,644	17,281	17,677
第三内科		14,764	15,483	17,069	15,507	14,864	14,891
第四内科		23,228	23,879	23,468	18,727	23,265	24,385
神経内科		12,161	10,728	10,519	7,397	8,267	9,175
第一外科		16,481	16,912	17,548	17,945	17,753	17,843
第二外科		5,588	5,854	6,045	11,224	11,030	12,232
整形外科		29,866	29,560	30,602	18,464	18,996	17,261
脳神経外科		11,902	11,953	11,415	11,343	11,466	11,748
婦人科		17,229	18,197	19,739	14,060	13,424	13,651
産科周産期科		2,816	2,357	3,941	11,343	11,693	11,500
小児科		11,722	12,653	15,370	9,187	10,329	8,816
眼科		33,501	28,758	27,352	13,463	12,120	12,780
皮膚科		27,157	28,512	28,714	9,766	9,208	9,397
形成外科		7,370	6,597	7,135	5,520	5,585	5,770
泌尿器科		19,032	19,206	21,076	10,503	10,076	11,352
耳鼻咽喉科		26,881	26,321	25,830	12,081	11,169	12,020
神経精神科		25,857	26,228	25,846	11,414	12,038	12,351
放射線科		34,880	38,530	38,526	12,996	11,839	11,908
麻酔科		13,597	12,869	10,136	1,892	1,561	1,615
総合診療科		4,392	3,852	3,364	689	99	0
歯科口腔外科		26,120	27,922	27,446	11,195	11,985	11,829
リハビリテーション科		36,302	38,389	41,496	4,441	5,073	5,981
救急集中治療部		471	796	1,639	4,166	6,150	7,653
計		478,149	483,396	494,480	268,208	272,206	279,923

イ 1日平均患者数

(単位:人)

科別	部門 年度	外来部門			入院部門		
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
第一内科		136.8	130.4	134.7	47.2	46.4	49.6
第二内科		179.4	191.2	195.4	48.3	47.3	48.4
第三内科		60.8	64.0	70.2	42.5	40.7	40.8
第四内科		98.7	98.7	96.6	51.3	63.7	66.8
神経内科		50.0	44.3	43.3	20.3	22.6	25.1
第一外科		67.8	69.9	72.2	49.2	48.6	48.9
第二外科		23.0	24.2	24.9	30.8	30.2	33.5
整形外科		122.9	122.1	125.9	50.6	52.0	47.3
脳神経外科		49.0	49.4	47.0	33.5	31.4	32.2
婦人科		70.9	75.2	81.2	38.5	36.8	37.4
産科周産期科		11.6	9.7	16.2	31.1	32.0	31.5
小児科		48.2	52.3	63.3	25.2	28.3	24.2
眼科		137.9	118.8	112.6	36.9	33.2	35.0
皮膚科		111.8	117.8	118.2	26.8	25.2	25.7
形成外科		30.3	27.3	29.4	15.1	15.3	15.8
泌尿器科		78.3	79.4	86.7	28.8	27.6	31.1
耳鼻咽喉科		110.6	108.8	106.3	33.1	30.6	32.9
神経精神科		106.4	108.4	106.4	31.3	33.0	33.8
放射線科		143.5	159.2	158.5	35.6	32.4	32.6
麻酔科		56.0	53.2	41.7	5.2	4.3	4.4
総合診療科		18.1	15.9	13.8	1.9	0.3	0.0
歯科口腔外科		107.5	115.4	112.9	30.7	32.8	32.4
リハビリテーション科		149.4	158.6	170.8	12.2	13.9	16.4
救急集中治療部		1.9	3.3	6.7	11.4	16.8	21.0
計		1,970.8	1,997.5	2,034.9	737.5	745.4	766.9

(4) 中央部門稼働実績概況

ア 放射線部使用状況

(単位：患者数、枚数)

区分	年度	平成20年度			平成21年度			平成22年度		
		入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
患者検査人数	単純撮影	36,780	31,408	68,188	28,549	35,290	63,839	39,654	39,670	79,324
	断層撮影			0			0			0
	造影検査	2,251	705	2,956	2,311	684	2,995	2,447	678	3,125
	血管造影	1,938	225	2,163	1,610	185	1,795	2,182	200	2,382
	乳腺撮影	40	920	960	91	2,294	2,385	29	1,314	1,343
	骨塩検査	169	1,006	1,175	142	961	1,103	167	887	1,054
	C T 検査	10,033	13,921	23,954	10,116	14,540	24,656	11,234	14,919	26,153
	M R 検査	2,599	6,078	8,677	2,829	6,712	9,541	3,016	6,896	9,912
	R I 検査	1,535	2,175	3,710	1,319	1,384	2,703	1,445	1,265	2,710
	P E T / C T				44	680	724	46	997	1,043
	画像出力			2,256			2,313			3,033
	P E T / C T 放射線治療			16,821			19,112			19,099
	合計	55,345	56,438	130,860	47,011	62,730	131,890	60,220	66,826	149,178
画像出力枚数	半切			1,421			946			500
	B	4		124			75			0
	乳腺用			2,299			2,217			0
	C D / D V D			1,820			2,031			2,533
	合計			5,664			5,269			3,033

平成17年5月より、フィルムレス・システムに移行したため、原則的にフィルムでの出力はなくなりました。画像情報の提供は、原則CD又はDVDで行っています。

イ 検査部・病理部・医療材料部検査件数

区分	年度	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
		件数	点数	件数	点数	件数	点数
血液検査		230,433	6,762,064	217,979	6,294,383	255,860	8,019,118
緊急検査		1,487,781	21,863,838	1,648,638	25,740,003	1,061,425	16,788,944
尿検査		139,938	3,851,726	142,426	3,985,227	158,498	4,410,055
輸血検査		56,913	2,401,166	61,456	2,628,363	67,485	2,803,714
細菌検査		54,510	5,460,220	59,344	6,486,500	69,964	8,770,005
生化学検査		1,283,040	29,456,135	1,171,068	28,944,828	1,907,327	39,353,839
血清検査		95,273	7,016,240	92,842	7,184,034	102,712	9,026,485
遺伝子検査		3,876	1,660,260	3,713	1,811,640	4,233	2,147,530
生理機能検査		38,980	10,175,375	40,122	10,298,620	40,511	10,298,620
検体検査管理加算料		394,798	48,760,047	388,809	44,958,589	449,521	51,749,211
感染対策および研究協力等				243			
検査部合計		3,785,542	137,407,071	3,826,640	138,332,187	4,117,536	153,367,521
機器診断部合		-	-	-	-	-	-
病理部	病理検査	18,971	10,575,540	19,518	11,013,100	19,632	11,490,300
	病理診断料	10,866	4,563,720	10,599	4,345,590	9,332	3,848,820
病理部合計		29,837	15,139,260	30,117	15,358,690	28,964	15,339,120
医療材料部合		5,745	11,032,653	5,989	11,190,050	5,856	13,923,550
総合計		3,821,124	163,578,984	3,862,746	164,880,927	4,152,356	182,630,191

*平成19年10月から機器診断部のうち、内視鏡を除く生理機能検査が検査部に、内視鏡検査が医療材料部に統合されました。

ウ 薬剤部調剤件数

(ア) 年間調剤延数(入院)

科別	平成 20 年度			平成 21 年度			平成 22 年度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第一内科	11,224	23,787	169,017	11,429	24,220	175,116	13,724	26,641	167,468
第二内科	13,325	35,121	250,317	12,971	35,373	253,501	12,478	35,104	266,299
第三内科	9,369	20,916	132,982	8,267	17,358	116,206	9,997	18,302	112,496
第四内科	10,964	26,033	174,746	13,725	32,344	219,515	16,492	34,248	214,647
神経内科	5,107	10,468	79,497	5,900	11,888	82,073	6,296	12,774	84,938
第一外科	12,648	22,246	126,866	12,780	23,579	150,703	13,886	24,367	137,130
第二外科	8,878	19,361	117,806	9,452	19,882	124,810	9,833	21,065	131,415
整形外科	8,610	16,140	112,433	8,483	18,064	135,816	7,877	15,338	93,647
脳神経外科	6,686	12,887	98,885	6,380	12,578	89,580	7,055	13,438	83,983
婦人科	8,900	11,939	62,494	8,945	11,661	63,736	8,812	12,140	68,431
産科周産期科	6,302	7,967	33,861	6,445	8,274	39,700	6,356	6,995	31,004
小児科	4,921	9,951	64,050	6,298	12,181	72,507	5,677	9,831	52,854
眼科	9,865	18,068	56,177	9,108	16,176	50,258	10,189	17,436	47,521
皮膚科	7,990	14,631	97,378	8,383	14,960	99,239	8,074	14,537	68,591
形成外科	2,333	3,737	20,840	2,063	3,537	20,781	2,194	3,818	16,439
泌尿器科	6,140	9,648	57,601	6,068	10,487	62,720	7,488	10,934	55,225
耳鼻咽喉科	7,404	12,729	79,323	7,784	13,582	88,486	7,907	12,852	71,516
神経精神科	7,720	17,186	117,808	8,242	18,726	129,066	8,719	20,628	132,879
放射線科	6,672	12,202	90,297	6,142	10,503	76,568	7,270	11,315	68,381
麻酔科	1,383	2,908	25,146	1,240	2,158	19,367	1,132	2,239	19,756
総合診療科	576	1,125	7,530	176	386	3,154	154	733	5,317
歯科口腔外科	6,394	8,536	36,908	8,126	10,775	63,516	7,814	9,805	38,520
リハビリテーション部	1,942	5,042	44,323	2,149	5,369	47,337	2,543	6,864	51,405
救急部	3,834	6,694	35,361	4,335	6,929	31,532	5,892	9,508	40,384
集中治療部	2,086	2,955	13,057	2,433	3,465	15,253	2,342	3,374	11,029
計	171,273	332,277	2,104,703	177,324	344,455	2,230,540	190,201	354,286	2,071,275

(イ) 年間調剤延数(外来)

科別	平成 20 年度			平成 21 年度			平成 22 年度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第一内科	1,655	10,247	291,528	1,797	10,960	316,377	1,918	10,031	284,827
第二内科	1,976	12,541	370,983	2,041	12,696	413,609	2,036	12,300	388,873
第三内科	617	3,310	76,686	730	3,558	87,334	739	3,535	71,288
第四内科	840	3,932	82,887	1,319	7,004	146,118	679	3,411	64,189
神経内科	236	812	23,410	312	1,028	27,269	372	1,113	27,014
第一外科	513	1,347	35,416	749	2,518	60,340	894	2,815	62,294
第二外科	211	1,362	43,019	247	1,376	43,869	171	885	31,828
整形外科	823	2,168	52,951	894	2,075	55,203	888	1,697	38,875
脳神経外科	598	2,095	74,264	669	2,291	85,011	535	1,627	63,772
婦人科	119	199	3,963	142	218	4,713	164	221	3,804
産科周産期科	56	85	558	43	66	466	49	74	505
小児科	216	817	17,531	163	550	9,952	189	535	9,584
眼科	859	1,725	16,127	878	1,874	21,021	805	1,827	10,779
皮膚科	2,766	6,270	86,437	3,165	6,884	95,876	2,076	5,748	78,504
形成外科	245	384	7,250	171	286	5,675	171	228	3,252
泌尿器科	440	820	20,057	522	1,237	27,453	760	2,020	32,262
耳鼻咽喉科	450	942	16,806	417	877	17,416	371	712	13,038
神経精神科	1,648	6,791	180,815	1,555	6,330	171,067	1,194	4,958	132,475
放射線科	67	191	3,218	68	194	4,141	29	44	1,411
麻酔科	1,477	7,284	130,647	1,397	6,595	129,034	1,020	5,510	86,952
総合診療科	22	54	890	18	47	1,270	28	84	1,634
歯科口腔外科	452	703	9,005	526	752	7,413	496	750	3,822
リハビリテーション部	924	4,024	88,146	951	3,965	89,207	859	3,886	73,684
救急部	10	17	75	7	10	87	18	32	241
集中治療部									
計	17,834	71,019	1,627,019	18,781	73,391	1,819,921	16,461	64,043	1,484,907

(ウ) 年間注射処方せん延数

科別	平成20年度			平成21年度			平成22年度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第一内科	23,397	53,156	112,680	22,829	56,502	110,220	19,157	58,909	119,627
第二内科	20,085	41,752	119,112	17,098	33,910	103,764	14,466	39,230	76,471
第三内科	11,987	23,998	56,012	9,831	20,407	47,278	7,433	20,248	38,131
第四内科	25,521	59,328	132,972	32,069	74,080	164,644	24,918	68,580	156,052
神経内科	3,918	7,618	15,122	3,967	7,240	13,886	4,276	11,954	22,630
第一外科	23,732	44,101	86,560	23,426	47,144	88,252	17,641	41,457	73,039
第二外科	15,428	31,729	81,282	15,680	31,061	64,366	8,498	21,314	41,165
整形外科	13,375	25,158	44,348	13,113	25,992	41,096	7,537	18,634	25,585
脳神経外科	7,892	14,669	28,391	8,122	15,335	31,355	6,155	15,545	26,452
婦人科	8,902	20,636	45,111	8,581	19,876	43,834	6,354	20,534	35,405
産科周産期科	9,282	15,232	54,770	8,575	13,455	41,546	6,889	16,083	45,251
小児科	9,192	20,761	85,528	11,545	27,627	100,330	8,306	39,229	75,760
眼科	4,814	7,309	12,239	4,509	6,785	10,276	3,099	5,273	7,292
皮膚科	5,481	10,689	21,822	7,932	16,740	32,897	4,812	10,733	18,496
形成外科	1,947	3,726	9,002	2,647	5,740	11,602	1,034	2,932	5,762
泌尿器科	10,738	23,772	44,730	10,370	25,020	44,586	6,963	18,978	35,646
耳鼻咽喉科	8,337	15,082	25,844	8,052	15,767	25,413	5,129	11,918	21,701
神経精神科	1,851	2,635	5,096	3,474	6,223	10,344	810	1,634	2,868
放射線科	6,595	12,458	25,208	5,876	11,342	22,322	4,341	11,290	21,660
麻酔科	1,075	1,709	2,851	518	858	1,314	383	596	852
総合診療科	421	624	1,141	66	93	195	0	0	0
歯科口腔外科	7,949	11,733	20,441	8,721	12,634	23,287	6,013	12,370	20,229
リハビリテーション部	443	694	1,096	617	1,032	1,270	490	1,025	1,396
救急部									
集中治療部									
計	222,362	448,569	1,031,358	227,618	474,863	1,034,077	164,704	448,466	871,470

(エ) 年間院外処方延数

科別	平成20年度			平成21年度			平成22年度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第一内科	18,773	100,726	3,478,487	17,805	96,574	3,505,669	18,429	99,621	3,462,928
第二内科	28,340	152,308	5,424,893	29,961	163,105	5,936,561	30,869	169,635	6,179,311
第三内科	8,808	34,219	864,499	8,922	34,088	893,479	9,712	34,824	832,443
第四内科	12,682	55,566	1,625,283	11,984	51,253	1,628,252	12,786	55,287	1,700,409
神経内科	7,440	29,932	1,134,036	6,229	26,791	1,013,710	6,166	25,545	980,711
第一外科	6,346	16,813	619,809	6,124	15,976	627,518	7,342	17,371	655,265
第二外科	1,737	9,096	294,096	1,803	9,787	328,609	1,844	8,964	301,260
整形外科	10,819	23,780	699,710	10,723	23,269	674,137	11,802	23,768	600,675
脳神経外科	4,253	12,583	573,629	4,182	12,477	579,786	4,377	12,702	563,500
婦人科	4,690	8,327	240,300	4,748	8,324	252,193	5,015	8,064	236,022
産科周産期科	1,163	1,509	15,846	1,329	1,853	21,309	1,328	1,937	25,116
小児科	6,911	19,066	485,374	7,109	20,611	530,966	7,519	21,481	544,930
眼科	15,088	30,899	308,894	13,951	28,593	314,591	14,205	28,246	215,797
皮膚科	13,738	37,204	599,740	14,575	39,631	647,529	15,153	40,791	568,513
形成外科	1,076	1,516	21,560	1,033	1,390	16,658	951	1,270	8,375
泌尿器科	5,671	9,171	342,348	5,762	9,496	380,727	6,690	11,668	434,773
耳鼻咽喉科	11,470	25,912	685,960	11,200	25,452	692,591	10,430	23,852	625,731
神経精神科	19,682	72,976	1,806,484	19,993	76,582	1,889,421	19,805	76,414	1,862,581
放射線科	1,185	2,995	79,951	1,367	2,759	88,324	1,406	2,359	74,583
麻酔科	3,489	16,059	302,128	3,275	14,490	318,671	3,642	15,060	291,525
総合診療科	3,303	11,879	315,396	2,912	10,308	290,218	2,333	8,292	216,915
歯科口腔外科	5,658	8,100	112,021	5,646	8,252	118,985	5,285	8,064	76,496
リハビリテーション部	2,461	8,967	194,002	2,554	9,121	202,143	2,843	10,281	216,388
救急部	51	157	2,064	46	186	3,066	64	222	3,856
集中治療部									
計	194,834	689,760	20,226,510	193,233	690,368	20,955,113	199,996	705,718	20,678,103

工 手術部手術件数

(単位：件)

科 別	年 度		
	平 成 20 年 度	平 成 21 年 度	平 成 22 年 度
第 一 内 科	9	10	18
第 二 内 科	3	1	20
第 三 内 科	-	1	2
第 四 内 科	8	11	17
神 經 内 科	2	1	4
第 一 外 科	594	583	623
第 二 外 科	560	619	597
整 形 外 科	785	787	748
脳 神 經 外 科	259	279	289
婦人科・産科周産期科	680	754	725
小 児 科	5	3	7
眼 科	1,349	1,223	1,157
皮 膚 科	283	283	344
形 成 外 科	502	424	483
泌 尿 器 科	462	427	479
耳 鼻 咽 喉 科	473	458	434
神 經 精 神 科	55	64	57
放 射 線 科	-	-	3
麻 酔 科	39	40	41
総 合 診 療 科	-	-	-
歯 科 口 腔 外 科	539	525	565
リハビリテーション科	-	-	1
救急集中治療部	78	105	187
合 計	6,685	6,598	6,801

* 形成外科の他科手術分含む。

(5) 分娩件数

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件 数	314	310	317

(6)病床数 (平成23年10月1日現在)

病棟別病床数

病棟名	室数	床数	特等		一等		一般		1床部屋	2床部屋	3床部屋	4床部屋	5床部屋	6床部屋	8床部屋	10床部屋	11床部屋
			室数	床数	室数	床数	室数	床数									
11階北病棟(第2内科・共用)	12	52			2	2	10	50	2	2		1		7			
11階南病棟(第3内科・共用)	14	51					14	51	4	1	3			6			
10階北病棟(第4内科・共用)	15	52	1	1	1	1	13	50	6	2				7			
10階南病棟(第1内科・共用)	15	51			2	2	13	49	4	4	1			6			
9階北病棟(皮膚科・形成外科・共用)	15	50			1	1	14	49	4	5				6			
9階南病棟(耳鼻咽喉科・内科共用)	15	50			1	1	14	49	5	3	1			6			
8階北病棟(脳神経外科・神経内科・共用)	14	43					14	43	3	4	1	1	5				
8階南病棟(整形外科・共用)	14	51			2	2	12	49	5	2				7			
7階北病棟(眼科・共用)	12	50			3	3	9	47	3	1	1			7			
7階南病棟(小児棟)	13	41					13	41	5	1		1	6				
6階北病棟(婦人科・共用)	14	49	1	1			13	48	4	3	1			6			
6階南病棟(産科周産期、生殖内分泌科・共用)	9	37			1	1	8	36	1	3				5			
5階北病棟(第2外科・共用)	14	44	1	1	2	2	11	41	3	4		2	5				
5階南病棟(第1外科・共用)	14	51					14	51	3	3	2			6			
4階北病棟(神経精神科)	14	42					14	42	4	4			6				
4階南病棟(泌尿器科・麻酔科・共用)	14	42			2	2	12	40	3	5		1	5				
3階中央病棟(リハ科・神経内科・共用)	11	40					11	40		5			6				
2階南病棟(歯科口腔外科・共用)	13	42			2	2	11	40	4	2		1	6				
1階南病棟(放射線治療科・共用)	21	48			2	3	19	45	9	7			5				
高度救命救急センター	5	36					5	36					1	2	1		1
集中治療部門	5	16					5	16	2	2						1	
合計	273	938	3	3	21	22	249	913	74	63	10	7	45	71	1	1	1

- 1)集中治療部門には人工透析室(6床)が設置している。
 2)等級別室料差額料金 特等:10,500円、一等:5,250円

診療科別病床数

診療科名	病床数	診療科名	病床数	診療科名	病床数	診療科名	病床数
第1内科	51	脳神経外科	38	耳鼻咽喉科	50	神経内科	29
第2内科	52	産科周産期科	37	神経精神科	42	形成外科	20
第3内科	51	婦人科	49	放射線治療科	48	神経再生医療科	-
第4内科	52	小児科	41	放射線診断科	-	救急部	36
第1外科	51	眼科	50	麻酔科	5	総合診療科	-
第2外科	44	皮膚科	30	歯科口腔外科	37	集中治療部	16
整形外科	51	泌尿器科	42	リハビリテーション科	16	合計	938

特定入院料等病床数

病床名	設置場所	病床数
結核病床	11階南病棟	6
R1病床	1階南病棟	5
ICU	高度救命救急センター	11
	集中治療部門	10
CCU	集中治療部門	3
クリーンルーム	集中治療部門	3
NICU	6階南病棟	6
GCU	6階南病棟	6

(7) 病理解剖件数

(単位:体)

科 別	年 度		平 成 2 0 年 度			平 成 2 1 年 度			平 成 2 2 年 度		
	性 別		男	女	計	男	女	計	男	女	計
第 一 内 科			1	1	2	2	1	3	2		2
第 二 内 科				2	2	3	3	6	2		2
第 三 内 科			3	2	5	1	1	2	1	1	2
第 四 内 科			1	1	2	4	1	5	1	1	2
神 經 内 科			2	2	4				3	1	4
第 一 外 科			1		1	2	1	3	3	1	4
第 二 外 科			2		2				1		1
整 形 外 科											
脳 神 經 外 科						1		1	1		1
婦 人 科				1	1						
産 科 周 産 期 科											
小 児 科									1	1	2
眼 科											
皮 膚 科			1		1						
形 成 外 科											
泌 尿 器 科			4		4	1	1	2	2		2
耳 鼻 咽 喉 科											
神 經 精 神 科											
放 射 線 科			1		1						
麻 酔 科											
総 合 診 療 科			1		1						
歯 科 口 腔 外 科						1		1	1	1	2
リハビリテーション科											
救 急 集 中 治 療 部			1	1	2	1	2	3	2		2
院 外			4	2	6	4	2	6	4	1	5
計			22	12	34	20	12	32	24	7	31

(8) 医療相談状況 (平成 2 2 年度)

ア 各科別件数

(単位 : 件)

区分	科名	第一	第二	第三	第四	神	第一	第二	整	脳	婦	産	小	眼	皮	形	泌	耳	神	放	麻	総	齒	シ	リ	救	そ	合
		内科	内	内	内	経	外	外	形	神	人	科	児	科	膚	成	尿	鼻	經	射	酔	合	科	リ	急	の	計	
入院	新規	115	162	67	97	100	97	97	117	80	69	67	41	85	40	30	78	74	47	32	4	0	72	33	117	10	1,731	
	継続	193	268	193	281	152	87	166	140	152	42	248	380	82	46	61	147	144	62	25	18	0	79	137	163	15	3,281	
	計	308	430	260	378	252	184	263	257	232	111	315	421	167	86	91	225	218	109	57	22	0	151	170	280	25	5,012	
外来	新規	250	89	74	106	81	68	30	305	59	206	19	48	117	41	52	47	46	99	39	8	12	49	48	3	30	1,926	
	継続	503	215	114	290	165	101	60	228	78	223	77	157	130	57	103	39	105	190	8	25	13	82	148	6	6	3,123	
	計	753	304	188	396	246	169	90	533	137	429	96	205	247	98	155	86	151	289	47	33	25	131	196	9	36	5,049	
合計		1,061	734	448	774	498	353	353	790	369	540	411	626	414	184	246	311	369	398	104	55	25	282	366	289	61	10,061	
備考		新規		3,657		件		36%		継続		6,404		件		64%		計		10,061		件		(100.0%)				

イ 相談内容別件数

(単位 : 件)

相談内容		件数(延べ)	構成比	備考
小児医療関係	育成医療	611	3.0%	
	小児慢性特定疾患	319	1.6%	
	養育医療・その他	193	0.9%	
医療費支払援助		2,872	14.1%	
生活保護法関係		745	3.6%	
障害福祉関係		1,396	6.8%	
老人福祉関係		112	0.5%	
介護保険関係		557	2.7%	
特定疾患医療		1,431	7.0%	
労働災害関係		84	0.4%	
健康保険関係		2,240	11.0%	
年金・手当関係		695	3.4%	
家族問題		479	2.3%	
就職・社会復帰		190	0.9%	
退院・転院援助		303	1.5%	
院内連絡調整		2,560	12.5%	
院外連絡調整		1,967	9.6%	
受診援助・指導		607	3.0%	
その他		1,865	9.1%	
心理判定・カウンセリング		1,211	5.9%	
計		20,437	100.0%	

(9) 病院経営概況

ア 病院診療収入稼働額

(単位:円、%)

区分 年度	稼働額			構成比		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計
平成20年度	14,846,436,573	3,518,175,733	18,364,612,306	80.8	19.2	100.0
平成21年度	15,243,576,895	3,808,134,617	19,051,711,512	80.0	20.0	100.0
平成22年度	16,826,408,385	3,975,371,816	20,801,780,201	80.9	19.1	100.0

イ 医療行為別診療収入稼働額

(単位:円)

行為	年度		平成20年度	平成21年度	平成22年度
	入院	外来			
初診料	入院	外来	5,998,631	7,457,795	8,612,224
	外	来	56,431,300	55,957,086	66,963,976
再診料	外	来	230,836,863	230,791,164	231,934,616
医学管理料等・在宅医療	入院	外来	63,298,758	62,577,496	61,752,052
	外	来	259,182,741	254,327,686	268,077,290
検査料	入院	外来	250,187,812	263,074,861	285,039,396
	外	来	917,855,138	932,756,272	970,313,135
画像診断料	入院	外来	146,145,016	153,803,646	138,589,547
	外	来	708,392,245	734,986,951	764,532,702
投薬料	入院	外来	214,298,279	235,190,275	230,759,325
	外	来	295,853,681	359,967,599	341,925,016
注射料	入院	外来	508,173,992	569,469,810	557,506,370
	外	来	510,830,830	668,339,802	767,410,988
処置料	入院	外来	136,081,217	166,361,196	138,945,610
	外	来	36,411,592	33,847,808	35,283,845
手術・麻酔	入院	外来	4,161,171,681	4,340,679,635	5,147,108,336
	外	来	92,619,927	82,959,523	74,432,440
その他	入院	外来	402,138,911	407,182,014	440,586,239
	外	来	409,761,416	454,200,726	454,497,808
入院料(出来高部分)	入院		1,937,295,658	2,095,299,765	2,364,182,442
入院料(DPC部分)	入院		6,551,498,100	6,472,084,410	6,974,203,970
室料差額	入院		37,390,500	37,553,250	35,059,500
食事	入院		432,758,018	432,842,742	444,063,374
計	入院	外来	14,846,436,573	15,243,576,895	16,826,408,385
	外	来	3,518,175,733	3,808,134,617	3,975,371,816

4 医学部附属フロンティア医学研究所

(1) 沿革

平成23年4月1日 附属がん研究所、附属臨海医学研究所及び教育研究機器センター2研究部門を再編統合し、附属フロンティア医学研究所を設置

(2) 歴代研究所長

平成23年4月1日 - 現在 黒木由夫

(3) 歴代研究所副所長

平成23年4月1日 - 現在 澤田典均

(4) 組織

研究所に分子医科学、ゲノム医科学、組織再生学、遺伝子工学、病態情報学、神経再生医療学、医生物学の7部門を置き、構成員は次のとおりである。

(平成23年10月1日現在)

部門	教授	准教授	講師	助教	助手	臨床検査技師	衛生検査技師	計
分子医科学部門		1	1					2
ゲノム医科学部門	1	1		2			1	5
組織再生学部門	1		1	2		1		5
遺伝子工学部門				1	1			2
病態情報学部門	1		1	1				3
神経再生医療学部門	1			1				2
医生物学部門								0
合計	4	2	3	7	1	1	1	19

(5) 研究計画の概要

ア 分子医科学部門

- ・疾患の発生メカニズムを細胞レベルで解明し、新たな診断、治療への応用を目指す研究

イ ゲノム医科学部門

- (ア) ヒト癌の発生機序の解明
- (イ) がん関連遺伝子の機能の解明
- (ウ) 癌における細胞周期チェックポイント異常の解析
- (エ) 癌の遺伝子治療の基礎研究
- (オ) ヒトゲノム情報活用基盤技術の確立

ウ 組織再生学部門

- (ア) 肝幹・前駆細胞の増殖・分化能についての研究
- (イ) 体外で肝組織の形成を試みる研究
- (ウ) 細胞移植による肝臓病治療を可能にするための基礎研究
- (エ) ヒト肝幹・前駆細胞の研究
- (オ) 人工肝臓研究

エ 遺伝子工学部門

- ・遺伝子工学技術の開発とそれを利用した疾患の病態解明と治療への応用を目指す研究

オ 病態情報学部門

- (ア) 血清プロテオミクスを用いた病態マーカーの探索
- (イ) アルツハイマー病の診断システムの開発
- (ウ) 発生工学を用いた診断・治療モデルの開発
- (エ) ヒト介在試験フィールドの構築
- (オ) システム理論によるヒューマンインターフェースの研究

カ 神経再生医療学部門

- (ア) 幹細胞の増殖・分化に関する研究
- (イ) 幹細胞の分化制御に関する研究
- (ウ) 幹細胞の癌化に関する研究
- (エ) 傷害された脳や脊髄の可塑性や再生に関する研究
- (オ) 幹細胞を用いた再生治療に関する基礎的研究
- (カ) 各種脳神経疾患への臨床研究
- (キ) 細胞治療の効果判定のための新しい方法の開発研究
- (ク) 再生医療の推進のための基盤整備に関する研究
- (ケ) 臨床グレードの幹細胞の供給システムの確立に関する開発研究

キ 医生物学部門

- ・免疫学などの医学研究及びその研究成果の応用を目指す研究。

5 医学部教育研究機器センター

(1) 沿革

昭和25年	中央電子顕微鏡室が旧校舎に設置
昭和29年	R I 研究室が基礎棟に設置
昭和36年	中央電子顕微鏡室が新電顕室に移設
昭和44年 4月1日	中央電子顕微鏡室、中央実験動物室、中央写真室、放射性同位元素室、中央研究機械室を併合して共同研究施設部が発足
昭和46年	中央電子顕微鏡室が本部棟に新築移転
昭和49年	R I 研究センター新築
昭和50年	中央組織学研究室発足
平成11年 4月1日	基礎医学研究棟の新築、移転に伴い、共同研究施設部を教育研究機器センターに改称。分子医学研究部門を新設し、教員を配置。放射性同位元素室をラジオアイソトープ研究部門に改称し、細胞組織研究部門と合わせて3部門で発足
平成15年 4月	細胞組織研究部門を分子機能解析部門に改称
平成15年 6月	分子機能解析部門に教員を配置
平成23年 4月1日	医学部附属研究所の再編に伴い、教育研究機器センターも研究支援部門として、システム管理部門、形態解析部門、電子顕微鏡部門、蛋白質解析部門、遺伝子解析部門、細胞バンク部門、ラジオアイソトープ部門、細胞プロセッシング施設の7部門と1施設に再編

(2) 歴代施設部長及びセンター所長

昭和44年 4月1日 - 昭和45年 3月31日	小野江 為 則
昭和45年 4月1日 - 昭和46年 8月31日	永 井 寅 男
昭和46年 9月1日 - 昭和50年 3月31日	田 中 護
昭和50年 4月1日 - 昭和54年 3月31日	坂 上 利 夫
昭和54年 4月1日 - 昭和58年 3月31日	林 喬 義
昭和58年 4月1日 - 昭和61年 3月31日	藪 英 世
昭和61年 4月1日 - 平成 2年 3月31日	秋 野 豊 明
平成 2年 4月1日 - 平成 6年 3月31日	森 道 夫
平成 6年 4月1日 - 平成10年 3月31日	加 納 英 雄
平成10年 4月1日 - 平成12年 3月31日	浦 澤 正 三
平成12年 4月1日 - 平成16年 3月31日	賀 佐 伸 省
平成16年 4月1日 - 平成20年 3月31日	藤 井 暢 弘
平成20年 4月1日 - 平成22年 3月31日	山 下 敏 彦
平成22年 4月1日 - 現 在	藤 宮 峯 子

(3) 組 織

センターはシステム管理部門、形態解析部門、電子顕微鏡部門、蛋白質解析部門、遺伝子解析部門、細胞バンク部門、ラジオアイソトープ部門の7部門の3部門からなり、構成員は以下のとおりである。
(平成23年10月1日現在)

部 門	部 門 長		臨床検 査技師	診療放射 線技師	電子顕微 鏡操作員	技能員	計
	教授	准教授					
システム管理部門	1						1
形態解析部門		1	2				3
電子顕微鏡部門		1			2		3
蛋白質解析部門	1						1
遺伝子解析部門	1						1
細胞バンク部門	1					2	3
ラジオアイソトープ部門	1			4			5
合計	5	2	2	4	2	2	17

兼務

6 医学部動物実験施設部

(1) 沿革

昭和25年4月	各講座で実験動物飼育開始
昭和27年	基礎医学講座共用の施設として基礎実験動物飼育室建設 臨床医学講座関係の施設として病院南側に動物舎建設
昭和38年12月10日	臨床動物実験室建設
昭和44年4月1日	共同研究施設部が設置され、中央実験動物室となる
昭和45年3月	基礎動物舎竣工
昭和57年2月26日	動物実験施設竣工
昭和57年5月16日	動物実験施設部設置
昭和63年10月	札幌医科大学動物実験指針施行
平成9年3月	動物実験施設部公開セミナーの開催を開始(以降、平成19年3月までに20回開催)
平成20年1月	札幌医科大学動物実験施設規程施行

(2) 歴代施設部長

昭和57年5月16日 - 昭和59年3月31日	浦澤正三
昭和59年4月1日 - 昭和63年3月31日	森道夫
昭和63年4月1日 - 平成4年3月31日	藪英世
平成4年4月1日 - 平成8年3月31日	大鹿英世
平成8年4月1日 - 平成10年3月31日	新津洋司郎
平成10年4月1日 - 平成14年3月31日	今井浩三
平成14年4月1日 - 平成17年3月31日	青木藩
平成17年4月1日 - 平成19年3月31日	加納英雄
平成19年4月1日 - 平成22年3月31日	澤田典均
平成22年4月1日 - 現在	堀尾嘉幸

(3) 組織

(平成23年10月1日現在)

部長	副部長	主任技師	獣医師	動物飼育員	業務委託・派遣	庶務	計
1 1	1	1	1	4(2) 2	5(2) 3	1(1) 2	14

1 兼務 2 () 内日々雇用職員再掲 3 () 内短時間勤務再掲

(4) 関連委員会・指針

札幌医科大学動物実験委員会
動物実験施設管理運営委員会
感染防止委員会実験動物部会
札幌医科大学動物実験規程

(5) 事業の概要（平成22年度）

ア 施設利用者数 延べ 9,347 名

イ 実験動物購入数及び飼育数

動物名	購入数(受入頭数)	延べ飼育数
ラット	3,504	397,923
遺伝子改変ラット	31	10,716(内数)
マウス	5,361	1,142,940
遺伝子改変マウス	161	488,633(内数)
モルモット	171	5,651
ウサギ	26	5,127
ネコ	0	6,636
ブタ	8	35
サル	0	1,460
ウニ	60	420

エ 実験動物検疫検査実績数

	ラット	マウス	モルモット	ウサギ	ブタ
受入頭数	3,504	5,361	171	26	8
発病頭数	0	0	0	0	0
死亡頭数	5	6	0	0	0
剖検検査頭数	699	1,218	2	7	0
抗体検査頭数	184	88	-	-	-
培養検査頭数	3	0	0	0	0

7 附属総合情報センター

(1) 沿革 平成18年 4月

附属図書館と附属情報センターを統合した組織として附属総合情報センターを開設。情報化時代に対応する本学の教育、研究、地域医療支援に加え、高度な情報セキュリティ対策により、本学情報資産の安全な運用を目指す。

(2) センター所長

平成18年 4月 1日 - 平成22年3月31日 佐藤 昇 志
平成22年 4月 1日 - 現 在 當 瀬 規 嗣

(3) 組織

(平成23年6月1日現在)

区 分	教 員	事務職員	司 書	計
所 長	1			1
副 所 長	1	1		2
企 画 開 発 室	2			2
主 任 司 書			1	1
総務・システム・グループ		3	2	5
図書グループ			6	6
計	4	4	9	17

兼務

(4) 事業の概要及び主な施設の整備状況

(情報システム部門)

ア 教育支援システム

趣旨	主 な 機 器	設置場所等
学生に対する基礎的な情報処理技術の教育環境を整備し、医学医療情報への応用能力育成のため、情報処理教育用の機器・ソフト等を整備するとともに、医学医療情報の検索、学生間あるいは研究者との情報交換を行えるネットワーク環境を提供する。	医学部教育用機器 (WindowsVista130台) 等 保健医療学部教育用機器 (WindowsVista69台) 等	基礎医学研究棟 5 階 コンピュータ実習室 保健医療学部棟 1 階 コンピュータ実習室

イ 研究支援システム

趣旨	主 な 機 器	設置場所等
医学医療研究の高度化に対応した高度情報処理機器並びに医学医療用ソフトを整備し、さらには学内に存在する各種の情報を体系的に整理してデータベース化するなど、研究活動に必要な情報処理環境を提供する。	遺伝情報処理ネットワークシステム、データ解析・統計処理システム、統計処理システム、情報可視化・テキストマイニングツール、蛋白質同定システム、NRIサイバーパテントデスク、e-Learnigシステム等	情報研究室他

ウ 地域医療支援システム

趣旨	主な機器	設置場所等
<p>北海道の医療分野においては、地域格差の解消が大きな課題となっている。本学が開かれた大学、高度な医療機関として地域に貢献するため、各種の医療機関ネットワークと相互接続し、連携を図りながら、離島やへき地をはじめ地域の医療機関で活動している医療関係従事者に最新の医学医療情報を提供し、診療診断サポートなどのサービスを提供する。</p>	<p>遠隔画像診断支援システム、TV会議システム、多地点マルチメディアTV会議システム、病理画像診断サーバシステム等</p>	<p>情報研究室</p>

エ 学内情報ネットワークシステム(SAINS)

趣旨	主な機器	設置場所等
<p>情報センターが整備する上記3システム等を効率的に結合する情報通信基盤として、全学を網羅し、高速で安定した学内LANを構築するとともに、学術情報ネットワーク(SINET)と接続し、学内外のスムーズな情報交換が行えるネットワーク環境を提供する。</p>	<p>公開用WWWサーバ、セキュリティ管理サーバ、ログ管理サーバ、ユーザ認証システムサーバ、メールサーバ、大容量ハードディスク、多角的アプリケーションシステム活用サーバ、ネットワーク管理サーバ、DNS管理システム、IP認証管理システム、ファイルサーバ、ファイアウォール、ウイルスチェックサーバ、RASサーバ、バックアップ機器等</p>	<p>基礎医学研究棟5階 コンピュータ(サーバ)室</p>

(図書館部門)

ア 組織・施設概要

項目	内容
延面積	4,140 m ²
閲覧席	293 席
情報コンセント	126 個
セミナー室	2 室
研究個室	4 室
利用者用端末	16 台
AV(視聴覚)端末	12 台
有料セルフコピー(コイン式)	3 台
有料プリンター(コイン式)	4 台

イ 蔵書

(平成23年3月31日現在)

項目		冊数
蔵書	図書	82,983冊
	製本雑誌	120,117冊
	計	203,100冊

項目		冊数
学術雑誌	和雑誌	3,321タイトル
	洋雑誌	3,087タイトル
	計	6,408タイトル
電子ジャーナル		5,203タイトル

ウ 入館者数内訳 (平成22年度)

(単位：人)

	開館日数	学内者					学外者	合計
		教職員	学部学生	大学院生	研究生等	学内者計		
全体	357日	18,372	148,479	5,559	2,876	175,286	11,478	186,764
うち土日祝	114日	1,600	24,169	750	456	26,975	1,910	28,885

土・日・祝日開館9時～翌日9時

エ 利用概要 (平成22年度)

項目		利用数
利用状況	館外貸出	23,730冊 (うち本学卒業生5,612冊)
	相互利用 (学外からの受付)	6,178件 (うち道内医療機関等4,165件)
	相互利用 (学外への依頼)	4,441件

オ 地域医療支援 (平成22年度文献複写受付)

相互利用 (学外からの受付)	内訳	医療機関等	大学等	その他	計
	道内	4,165件	382件	65件	4,612件
	道外	504件	944件	118件	1,566件
	計	4,669件	1,326件	183件	6,178件

カ 特徴的な業務

(ア) 24時間開館の実施

(イ) 閲覧席で持参のノートパソコンを使用したデータベースやインターネットへの接続環境を提供

(ウ) 本学卒業生及び道内医療従事者へ、インターネットを介した文献複写受付サービスの提供

・米国国立医学図書館医学文献データベース「PubMed」利用

・国立国会図書館雑誌記事索引「NDL-OPAC」利用

(エ) 道内の医療機関発行病院誌等の電子化支援とインターネット上での代行公開

8 附属産学・地域連携センター

(1) 沿革

平成16年4月 大学全体の研究支援機関として、知的財産管理室が発足

平成18年4月 知的財産管理室と事務局の知的財産部門、研究協力部門が一体となり、新たな大学附属機関として、産学・地域連携センターが発足

(2) 歴代センター所長

平成19年4月1日 - 平成20年3月31日 濱田 洋文

平成20年4月1日 - 平成23年5月9日 三高 俊広

平成23年5月10日 - 現在 黒木 由夫

(3) 組織

(平成23年10月1日現在)

所長	参事	副所長	事務職員	教員	特任教員 (産学官連携 コーディネーター)	計
1 ₁	1 ₁	2 ₂	5	1 ₁	1 ₁	10

1 兼任

2 うち1名兼任

(4) 業務概要

ア 研究支援

科学研究費補助金等

文部科学省科学研究費補助金をはじめとする各種研究助成金制度の情報提供、申請、経理補助等

共同研究・受託研究・寄付金

本学の研究活動の活性化及び研究成果活用につながる、企業や市町村等との共同研究・受託研究等の受付・あっせん・契約、寄付金の受入、経理等

イ 教育支援

知財教育プログラム

医療研究者、地域医療従事者を支援するための知的財産教育プログラムの実施

知的財産関係図書

知的財産関連図書・文献の学内貸出サービス

ウ 知的財産の管理活用

相談受付

研究成果の権利化や活用等について、初歩から専門まで幅広く相談を受付

知的財産管理

発明に関連した先行技術文献の調査、特許出願手続業務の実施、特許をめぐるトラブルの処理等

リエゾン（知財を核とした技術移転）

本学研究者と企業等との間の橋渡し

(5) 文部科学省科学研究費補助金

(単位：千円)

種 目	平成 21 年度							平成 22 年度						
	新 規 応 募		交 付 内 定					新 規 応 募		交 付 内 定				
			(新 規)			交 付 合 計				(新 規)			交 付 合 計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	採 択 率	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	採 択 率	件 数	金 額
特定領域 研究	2	20,000	0	0	0%	7	89,300	2	16,000	0	0	0%	0	0
新学術領域 研究(研究領 域提案型)	0	0	0	0	-	0	0	8	971,650	0	0	0%	0	0
新学術領域 研究 (公募研究)								3	23,075	0	0	0%	0	0
基盤研究 (S)	0	0	0	0	0%	1	16,800	0	0	0	0	0%	0	0
基盤研究 (A)	1	48,000	1	12,600	100%	2	26,300	2	100,000	0	0	0%	2	12,800
基盤研究 (B)	29	521,968	6	31,500	20.7%	25	98,400	21	377,427	8	42,400	38.1%	25	99,200
基盤研究 (C)	106	480,096	28	40,700	26.4%	61	73,900	89	403,207	22	33,900	24.7%	78	88,300
挑戦的 萌芽研究	42	186,001	6	8,800	14.3%	12	14,800	45	195,954	6	7,900	13.3%	12	15,000
若手研究 (S)	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0
若手研究 (A)	3	39,970	0	0	-	0	0	4	57,436	0	0	0%	1	10,500
若手研究 (B)	117	504,166	30	53,600	25.6%	60	86,700	102	449,830	25	39,300	24.5%	59	77,500
研究活動 ｽﾀｯﾄﾞ支援	0	0	0	0	-	1	1,200	3	7,500	1	1,260	100%	1	1,260
奨励研究	0	0	0	0	0%	0	0	1	1,000	0	0	0%	0	0
特別研究 促進費	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0
特別研究 員奨励費	0	0	0	0	-	3	2,200	1	3,000	1	1,200	100%	4	3,173
合 計	300	1,800,201	71	147,200	23.7%	172	409,600	281	2,606,079	63	125,960	22.4%	182	307,733

(6) 受託研究受入れ状況

(単位：件、千円)

区分	平成 22 年度		平成 21 年度		平成 20 年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
国等受託・共同研究	48	236,205	64	528,961	40	266,431
一般受託研究	47	18,724	46	31,747	38	20,281
合 計	95	254,929	110	560,708	78	286,712

(7) 特許出願等の状況

(単位：件)

	平成 22 年度	平成 21 年度	平成 20 年度	平成 19 年度	平成 18 年度	平成 17 年度
出 願	24	16	18	23	18	19
取 得	3	1	0	1	0	0

発明等の管理は、平成 16 年度までは教員個人が行い、平成 17 年度からは大学が行っている。
平成 17 年度は移行期であるため、教員個人管理の出願 8 件を含む。

9 緩和医療学講座

(1) 沿革

平成 20 年 4 月 1 日 株式会社アインファーマシーズの協力により寄附講座として緩和

(2) 担当教授

平成 20 年 4 月 1 日 - 平成 21 年 3 月 31 日	並 木 昭 義
平成 21 年 4 月 1 日 - 平成 22 年 3 月 31 日	晴 山 雅 人
平成 22 年 4 月 1 日 - 現 在	山 蔭 道 明

(3) 組織

(平成 23 年 10 月 1 日現在)

教授	准教授	講師	助教	特任講師	特任助教	事務職員	計
1	1	1	1	1	2	1	8

兼務

(4) 研究計画の概要

緩和医療学講座の 5 年間に於ける研究及び活動計画は以下の内容について実施し、その結果を公表する。

ア 実態調査

- (ア) 患者、家族の緩和医療、ケアに求めるもの
- (イ) 各職種医療者の緩和医療学及び体制に関する認識
- (ウ) 医学生、看護学生の緩和医療、ケアに関する認識

イ 研究課題

- (ア) 難治性がん疼痛患者の対応
- (イ) がん疼痛機序の研究
- (ウ) 化学療法による末梢神経障害機序の研究
- (エ) がん化学療法の適正な使用法と副作用対策
- (オ) 医療者のコミュニケーション能力の向上
- (カ) がん患者、家族及び遺族の苦悩の対応
- (キ) 地域医療との連携

ウ 啓発活動

- (ア) 医学生、看護学生、その他学生の講義と実習指導
- (イ) 医療者の講義と実施教育
- (ウ) 医療者向け講演会と市民講座の開催

各年度の活動、実績を基に次年度の具体的な研究、活動方針の企画及び 5 年間の目標達成を検討する。

10 分子標的探索講座

(1) 沿革

平成 20 年 5 月 1 日 日東電工株式会社の寄附により、分子標的探索講座を設立

(2) 担当教授

平成 20 年 5 月 1 日 - 現 在 新 津 洋 司 郎

(3) 組織

(平成 23 年 10 月 1 日現在)

特任教授	特任助教	研究支援者	計
1	4	4	9

(4) 研究計画の概要

ア まず、p53 のがん抑制因子としての活性が、TGF の作用に絶対的に依存していることを、*in vitro*、*in vivo* の系で証明し、次いで様々ながん腫におけるこのシグナルの異常を解析した上で、それによって低下したがん抑制活性を高める為の様々な治療戦略を開発する。

イ 細胞の運動シグナルのマスター分子である pkczeta の阻害分子を探索し、転移モデル、炎症モデルで有用性を検証する。

ウ がん随伴する線維芽細胞（がん細胞に様々な成長因子を与えている）に特異的に発現している受容体を介して、抗癌剤を取り込ませ死滅させるという、新しい概念の癌間質抑制療法を開発する。

エ 大腸がんの初期発生過程に GSTpi/Raf/ERK シグナルが関与していることを、*in vitro*、*in vivo* の系で証明し、GSTpi 阻害剤の化学予防薬としての有用性を検証する。

オ 肝組織再生時の星細胞の役割（幹細胞との相互作用）を明らかにし、他の組織においてもそのアナロジーが成り立つか否かを検証する。それと同時に星細胞における VA 受容体の同定を行いその役割についても調べる。

カ 組織再生戦略として、線維化組織や異常な血行を再構築した上で、組織幹細胞を活性化させる、または多機能幹細胞（ips、ES、骨髄間葉系幹細胞）を外部から導入するという構想を具体化する。

11 神経再生医学講座

(1) 沿革

平成19年8月1日 文部科学省「橋渡し研究支援推進プログラム、オール北海道先進医学・医療拠点形成プロジェクト」が発足

平成19年9月27日 北海道臨床開発機構が発足

平成20年5月1日 新たな大学附属機関として、神経再生医学講座が発足

(2) 担当教授

平成20年5月1日 現在 本 望 修

(3) 組織 (平成23年10月1日現在)

教授	助教	計
1	1	2

兼務

(4) 研究計画の概要

【基礎研究】

* 治療メカニズムの解明

動物実験の継続 臨床データの詳細な解析

* 治療プロトコルの最適化、治療効果の向上

動物実験の継続 臨床研究への応用

* 適応疾患の拡大

他科との連携 学内横断的な協力体制

基礎研究から臨床研究へ

* 新たなドナー細胞の検索

骨髄幹細胞から誘導した神経幹細胞

末梢血由来の幹細胞

【臨床研究推進】

* 骨髄幹細胞による脳梗塞治療の推進 (臨床研究体制の整備)

幹細胞治療に特化した、新たな治療・評価体制の確立

高度医療、先進医療、医師主導の治験、への移行

多施設共同研究 (他大学、道内病院との連携)

体制の強化

【実用化推進】

* 臨床に使用できる幹細胞の調製・提供体制の整備

細胞調整施設 (Cell Processing Center) の整備

標準手順書の整備・改良 (GLP、GMP 基準)

検査体制の確立

【実用化研究開発】

* 実用化面での効率化・改良を推進

採取方法、培養の効率化 搬送方法の確立

細胞培養の自動化

12 オホーツク医療環境研究講座

(1) 沿革

平成 22 年 8 月 1 日 北見赤十字病院からの申し出により特設講座としてオホーツク医療環境研究講座が発足

(2) 担当教授及び代表教員

ア 担当教授

平成 22 年 8 月 1 日 - 現在 篠村 恭久

イ 代表教員

平成 22 年 8 月 1 日 - 現在 本谷 雅代

(3) 組織

(平成 23 年 10 月 1 日現在)

教 授	准教授	講 師	特任助教	事務職員	計
9	1	1	3	1	15

兼務

(4) 研究計画の概要

本講座では、地域医療を担う医療従事者に対する医学知識の刷新及び再研修方法の研究及びその実践を行うため、次の取組みを実施する。

ア 地域医療に従事する医師が精度の高い診断技術と適切な診療を行う判断力を養うため、教授方法の研究及びその実践

イ 看護ケアの充実・向上を図るため、特定の看護分野における熟練した看護技術及び知識を持つ看護師を養成し、地域病院の看護師等への教育指導を行う体制の構築を行うとともに研修会等を開催

ウ 地域のリハビリテーション水準の向上を図るため、専門の指導士を養成し、地域病院の理学療法士等への教育指導を行う体制の構築を行うとともに研修会等を開催

13 道民医療推進学講座

(1) 沿革

平成 22 年 9 月 1 日 北海道知事からの申し出により特設講座として道民医療推進学講座が発足

(2) 担当教授及び代表教員

ア 担当教授

平成 22 年 9 月 1 日 - 現在 山下 敏彦

イ 代表教員

平成 22 年 9 月 1 日 - 現在 和田 卓郎

(3) 組織

(平成 23 年 10 月 1 日現在)

教 授	特任教授	准教授	特任准教授	特任助教	計
3	1	1	1	2	8

兼務

(4) 研究計画の概要

地域医療の確保を目的に、地域医療を担う医師の養成に関する調査・研究を行うため、次の取組を実施する。

ア 地域特性を踏まえた医療ニーズの探索研究

地域にはそれぞれ固有の医療ニーズがあると考えられる。地域特異的な医療ニーズを明らかにすることにより、地域特性を踏まえた医療資源の効率的な提供方法を考案し、地域医療の質の向上を図る。

イ 地域医療を担う医師に対する医学知識の刷新及び再研修方法の研究

地域医療に従事する医師に対する最新の医療知識・技術の教授方法の研究をすることにより、医療情報格差が生じないようなシステムの構築と教育研修の実践を行う。

ウ 地域医療機関の機能分化と連携方法の検討による医療供給体制の構築の確立

地域における医療供給体制の充実を図るための医療機関の機能分化と連携手法について研究する。

エ 地域の医療水準を向上するためのコメディカルスタッフに対する教育・指導法の研究及び実践

地域医療を担う看護師等に対する最新の医療知識の教授を行う。

オ 地域基幹病院と講座の医療情報の迅速な共有化手法を研究することによる遠隔診断・治療方法の確立及び臨床

大学と地域基幹病院と地域医療機関で医療情報を迅速に共有化することにより、専門医の的確な診断・治療助言ができるようなシステムを構築する。

カ 地域住民の健康意識向上のための啓発・教育に関する研究及び実践

地域住民の健康に対する知識や意識を高める手法を研究することにより、疾病の予防や医療費の低減を図る。また、公開講座などの実践を行う。

14 南檜山周産期環境研究講座

(1) 沿革

平成 22 年 9 月 1 日 北海道知事からの申し出により特設講座として南檜山周産期環境講座が発足

(2) 担当教授及び代表教員

ア 担当教授

平成 22 年 9 月 1 日 - 現在 齋 藤 豪

イ 代表教員

平成 22 年 9 月 1 日 - 平成 23 年 3 月 31 日 高 橋 円

平成 23 年 4 月 1 日 - 現在 寺 本 瑞 絵

(3) 組織

(平成 23 年 10 月 1 日現在)

教 授	特 任 助 教	計
2	2	4

兼務

(4) 研究計画の概要

深刻な産婦人科医不足の問題の解決に向けて、本講座では、地域の周産期医療を担う医師の養成、安全な分娩体制の構築等について調査・研究を行うため、次の取組を実施する。

ア 周産期医療を担う産科医師の養成に関する調査・研究及び実践

過疎地域において周産期医療を行うためには、個々の医師が分娩時に起こる様々な事象に適切に対処することが求められる。地域においてそのような技能と知識を習得できるような教授方法の開発と大学における地域周産期医療を担う人材の育成を行う。

イ 地域において産科医師が安全に分娩業務を行うための方法の研究及び臨床

産科医が自ら望んで地域に来て、安心して分娩業務を遂行するために、どのような体制を構築することが必要かについて調査し、産科医にとって魅力的な職場にする手法を研究する。

ウ 助産師をはじめとするコメディカルの養成に関する調査・研究及び実践

産科医が対応できないような場合でも、妊産婦あるいは胎児の状態の変化に対する的確な判断ができるような助産師・コメディカルを養成することにより、地域における周産期医療水準の向上を図る。

エ 産科医、麻酔科医連携に関する調査・研究及び実践

緊急帝王切開をはじめとして、分娩に生じる様々な緊急事態に適切に対応するために必要な知識や手法の教授や研修会を開催することにより、地域における周産期医療水準の向上を図る。

加えて、産科医と麻酔科医の連携手法等の調査を行うことにより、地域における産科医の負担を軽減する手法を研究する。

15 平成23年度収入支出予算

(単位:千円)

収入		支出	
科目	予算額	科目	予算額
<u>運営費交付金</u>	<u>6,228,000</u>	<u>業務費</u>	<u>28,521,488</u>
運営費交付金	6,228,000	教育研究経費	1,252,487
<u>学生納付金</u>	<u>859,915</u>	医薬材料費	7,312,545
学生納付金	859,915	診療経費	2,555,570
<u>附属病院収入</u>	<u>20,916,060</u>	管理経費	3,804,066
診療収入	20,916,060	人件費	13,596,820
<u>雑収入</u>	<u>921,184</u>	<u>財務費用</u>	<u>403,671</u>
負担金及び補助金	339,236	長期借入金償還費	403,671
科学技術研究費等間接経費	104,230	<u>受託経費</u>	<u>371,307</u>
その他雑収入	477,718	受託経費	371,307
<u>受託収入</u>	<u>371,307</u>	<u>寄附金事業費</u>	<u>570,000</u>
受託収入	371,307	寄附金事業費	570,000
<u>寄附金収入</u>	<u>570,000</u>	<u>施設等整備費</u>	<u>1,086,984</u>
寄附金	570,000	施設整備費	566,984
<u>道費補助金</u>	<u>566,984</u>	機器整備費	520,000
施設整備費補助金	566,984	<u>目的積立金活用事業費</u>	<u>541,360</u>
<u>道費借入金</u>	<u>520,000</u>	目的積立金活用事業費	541,360
医療機器整備費借入金	520,000		
<u>目的積立金取崩収入</u>	<u>541,360</u>		
目的積立金取崩収入	541,360		
計	31,494,810	計	31,494,810

16 校舎等建物面積

(平成23年10月1日現在)

(単位: m²)

用途別	建物別	計	大 学 校 舎								RI室・がん研究所	臨海医学研究所
			東棟	本部棟	教育北棟	教育南棟	保健医療棟	臨床教育棟	基礎医学棟	更衣室		
校舎	講義室・演習室	3,775	1,059	358	360	920	816	262				
	実験室・実習室	8,331			1,551	510	2,926	2,039	1,305			
	研究室	4,484	641	153			1,241	1,313	1,136			
	講座関係	3,727	199					2,578	950			
	標本館	407	37						370			
	図書館	4,230							4,230			
	RI研究センター	1,212									1,212	
	動物実験施設部	2,080	1,691	389								
	講堂	461						461				
	管理関係その他	29,804	4,311	1,025	637	311	2,655	8,137	12,553	175		
小計	58,511	7,938	1,925	2,548	1,741	7,638	14,790	20,544	175	1,212	0	
研究所	がん研究所	1,617									1,617	
	臨海研究所	199										199
	小計	1,816									1,617	199
計	60,327	7,938	1,925	2,548	1,741	7,638	14,790	20,544	175	2,829	199	

用途別	建物別	計	附属病院		体育館	弓道場	グラウンド 附属物	学生寮	保育所	看護師 宿舎	国際医学 交流センター	リハビリ テーション 教育実習棟	交流会館	流館	ファミリー ハウス	記念 ホール	細胞 プロセッシング 施設	ブ ッ グ セ ン グ 設 施	白 小 井 屋	その他	
			中央診療 棟	外来 診療棟																	
附属 病院	病棟関係	24,635	22,253	2,382																	
	外来関係	8,632	901	7,731																	
	中央部門	11,373	10,257	1,116																	
	管理関係その他	20,727	17,631	3,096																	
	小計	65,367	51,042	14,325																	
体育施設	1,741			1,440	139	162															
学生寮	1,190						1,190														
保育所	486							486													
看護師宿舎	2,847								2,847												
国際医学交流センター	618										618										
リハビリテーション教育実習棟	778											778									
交流会館	1,907												1,907								
ファミリーハウス	553														553						
記念ホール	733																733				
細胞プロセッシング施設	364																	364			
その他	165																		72	93	
計	76,749	51,042	14,325	1,440	139	162	1,190	486	2,847	618	778	1,907	553	733	364		72	93			

総計 137,076

平成23年度 札幌医科大学要覧

平成23年10月発行

編集 北海道公立大学法人札幌医科大学

事務局企画管理部経営企画課

〒060-8556

北海道札幌市中央区南1条西17丁目

TEL 011-611-2111 内線2164

FAX 011-611-2237

<http://web.sapmed.ac.jp/>
